取扱説明書

BD370

ENERGY STAR® パートナーとして、LGは本製品または本製品モデルが省電力に関する ENERGY STAR® のガイドラインに適合していることを確認しています。

ENERGY STAR® は米国の登録商標です。

P/NO : MFL62344708

注意

感電する危険がありますので開けないでください。

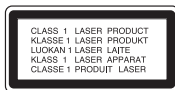
注意: 火災や感電事故防止のため、カバー(または裏面)を開けないでください。製品内部には、お客様ご自身で修理できる部品はございません。修理が必要な場合は、弊社カスタマーセンターまで連絡ください。

正三角形内の稲妻形矢印マークは、機器内部の絶縁されていない危険な電圧により感電の危険があることを警告するものです。

正三角形内の「!」の表示は注意を促すマークで、本製品付属の取扱説明書に、操作や保守での重要な指示が記載されていることを示しています。

警告: 火災や感電を防止するため、本製品を雨や湿気にさらさないでください。

警告: 本機を本棚などの狭い場所に設置しないでください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
KLASSE 1 LASER PRODUKT
LUOKAN 1 LASER LAITE
KLASS 1 LASER APPARAT
CLASSE 1 PRODUIT LASER

注意: 製造メーカーの指示に従って設置してください。キャビネットの溝や開口部は、本製品が正常に動作し、過熱を防止するためのものです。本製品をベッドやソファー、カーペットなどの上に置いて、開口部を絶対に塞がないでください。適切な換気があり、製造メーカーの指示が守られている場所でない限り、本製品を備え付けの本棚やラックに置かないでください。

注意: 本製品はレーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みのうえ、今後の参照のために保管してください。機器の修理点検が必要な場合は、当社カスタマーセンターにお問合わせください。
ここに規定された以外の手順によるコントロールや調整を行うと、危険なレーザー放射にさらされる可能性があります。レーザービームの直視を避けるために、本機は開けないでください。内部では可視のレーザービームが照射されています。レーザービームをのぞき込まないでください。

注意: 本機が水滴やはね水を受けないように、液体の入った花瓶などを本体の上に置かないでください。

電源コードについて
専用コンセントに設置することを推奨します。
これは、その機器だけに電源供給をする単一のコンセントであり、追加や分岐回路のないコンセントを意味しています。この取扱説明書の仕様ページをご覧になり、ご確認ください。コンセントの定格負荷を超える使い方はしないでください。コンセントの過負荷、ゆるくて損傷しているコンセント、延長コード、擦り切れた電源コード、絶縁体がひび割れ損傷したコードを使用するのは危険です。これらはどれも感電や火災の原因となります。機器の電源コードは定期的に点検し、破損や劣化がある場合はコンセントからコードを抜き、製品のご使用を中止し、カスタ マーセンターが指定する製品に合うコードと交換してください。電源コードは、曲げたり、ねじったり、締めつけたり、ドアを閉める際に挟んだり、踏みつけるなど、物理的や機械的に不適切な使用をしないように注意してください。プラグやコンセント、製品本体のコード接続部分は特に注意してください。主電源を切る場合は、本体の電源プラグを抜いてください。本製品を設置の際は、近くにコンセントがあることを確認してください。

本機は主電源プラグを遮断装置として使用しております。主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置へ容易に手が届くようにして下さい。

著作権に関するご注意

- BD フォーマットの規格は、著作権保護技術である AACS (Advanced Access Content System) に承認されているため、DVD フォーマットでの CSS (Content Scramble System) と同様、AACS で保護されたコンテンツの再生やアナログ信号出力などに特定の制限が課せられています。本製品の生産後にAACS により承認か変更、またはその両方が行われる可能性があるため、お客様の購入時期により製品の動作や制限が異なります。
  また、BD フォーマットの著作権保護技術として BD-ROM Mark や BD+ も採用されており、BD-ROM Mark か BD+、またはその両方にて保護されたコンテンツでは、再生制限などの特定の制限が課せられています。AACS、BD-ROM Mark、BD+、または本製品に関する詳細については、当社顧客カスタマーセンターにお問い合わせください。
- BD-ROM や DVD ディスクの多数が複製防止のために暗号化されています。このため本製品は、直接テレビと接続し、レコーダー機器は接続しないでください。レコーダー機器に接続すると、不正コピー防止機能のディスクで画像が乱れる原因となります。
- 本製品は、米国特許およびその他の知的財産権によって保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用には、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。お客様によるリバース・エンジニアリング、または分解することは法律で禁止されています。
- 米国著作権法およびその他の国の著作権法の下で、無断で録音・録画、利用、展示、頒布をすること、またはテレビ番組、ビデオテープ、BD-ROM ディスク、DVD、CD やその他の媒体の編集をすることは、民事や刑事責任、またはその両方を科せられる場合があります。

ソフトウェアの更新

本機は、LAN ケーブルでインターネットに接続することでソフトウェアを更新することができます。製品の動作機能を向上したり、新しい機能を追加するために、最新のソフトウェアにて本機を更新することをお勧めします（41 ページ参照）。

BD-LIVE 機能を使用するために

USB フラッシュメモリーを USB ポートに接続します（20 ページ参照）。

SIMPLINK とは？

SIMPLINK が搭載されている本機と当社製のテレビとが HDMI ケーブルで接続されていると、テレビのリモコンで本機を操作できる機能があります。

- 当社製のテレビのリモコンで操作できる機能は、再生、一時停止、スキャン、スキップ、停止、電源オフなどです。
- SIMPLINK 機能についての詳細は、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- SIMPLINK 搭載の当社製のテレビ には、上に示すようなロゴが付いています。

注記：

ディスクの種類や再生状態によっては、SIMPLINK の動作がお客様の意向と異なったり、動作しないこともあります。

商標について

Java およびすべてのJava 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

本機は、米国特許: 5,451,942 号、5,956,67 号、5,974,380 号、5,978,762 号、6,487,535 号、または米国およびその他の国での登録済み特許、または特許申請中の実施権に基づき製造されています。DTS はDTS, Incの登録商標であり、また、DTS ロゴ、記号、DTS-HD および DTS-HD Advanced Digital Out は DTS 社の商標です。© 1996-2007 DTS 社 不許複製。

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI licensing LLC の商標または登録商標です。

「BD-LIVE」ロゴは、Blu-ray Disc 推進団体の商標です。

「DVD ロゴ」は、DVD フォーマットロゴライセンス (株) の商標です。

「x.v.Color」はソニー株式会社の商標です。

「Blu-ray Disc」は商標です。

「BONUSVIEW」はBlu-ray Disc Association の商標です。

本機は、AVC Patent Portfolio License 及びVC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。(i) AVC 規格及びVC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合(ii) 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVC/VC-1 ビデオを再生し、ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC/VC-1 ビデオを再生する場合。ライセンスの一切の譲渡、またはその他のいかなる使用も含めて禁止する。詳細については米国法人MPEG LA,LLC。http://www.mpegla.com をご参照ください。

「AVCHD」および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

「YouTube」は Google Inc の商標です。

目次

本機の接続、操作、設定を行う前に、この取扱説明書をよくお読みください。

ご使用の前に

本機を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みのうえ、今後のために保管してください。
この取扱説明書は、本機の操作とサービスについて説明しています。
本機のサービスが必要な場合は、当社サービス店にご連絡ください。

⊘ 記号の表示について

操作中でのテレビ画面に、「⊘」が表示されたときは、この取扱説明書で説明されている機能が、その特定のメディアで利用できないことを示しています。

この取扱説明書で使用されている記号

注記:
特定の注意と操作の特徴を示します。

ヒント:
簡単に操作するためのヒントを示します。

タイトルに下記の記号のある項目は、その記号のディスクだけに適用されます。

記号	説明
ALL	以下のリストのすべてのディスク
BD	BD-ROMディスク
DVD	DVDビデオ、ビデオモードまたは VRモードでファイナライズされた DVD±R/RW
AVCHD	AVCHD 形式の DVD±R/RW
DivX	DivX ファイル
ACD	オーディオCD
MP3	MP3 ファイル
WMA	WMA ファイル

本機の取り扱い

本機を運送するとき
製品の出荷カートンと梱包材は保管してください。本機を運送する必要が生じたときは、破損を避けるために、工場出荷時に梱包されていたように再梱包してください。

外部表面をクリーンな状態に保つ

- 本機のそばで殺虫剤スプレーなどの揮発性の液体を使用しないでください。
- 強く拭き取ると表面を傷つけることがあります。
- ゴムやプラスチック製品を長時間本機に触れたままにしないでください。

本機のお手入れ
本機のお手入れには、乾いた柔らかい布をご使用してください。表面がかなり汚れている場合は、薄めた洗剤液で軽く湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。
アルコールやベンジン、シンナーなどの強い溶剤は、本機の表面を傷つける恐れがありますので使用しないでください。

本機のメンテナンス
本機はハイテクの精密装置です。ピックアップレンズやディスクドライブ部分が汚れたり消耗したりすると、画質が低下する可能性があります。詳細についてはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

ディスクについてのご注意

ディスクの取り扱い
ディスクの再生面には手を触れないでください。表面に指紋が付かないように、ディスクの両端を持ちます。ディスクに紙やテープなどを絶対に貼らないでください。

ディスクの保管
ご使用後はディスクを所定の保護ケースに入れて保管してください。ディスクを直接日光の当たる場所や高温な場所に置かないでください。絶対に直射日光の当たる車内に放置したままにしないでください。

ディスクのお手入れ
指紋やほこりによるディスクの汚れは、画質の乱れや音声の低下の原因になります。再生する前に、きれいな布でディスクを拭き取ってください。ディスクの中央から外へ向かって拭いていきます。
アルコールやベンジン、シンナー、市販のクリーナー、または古いビニールレコード用の静電気防止スプレーなどの強い溶剤は使用しないでください。

再生できるディスク

ブルーレイディスク
- 販売やレンタルされている映画などのディスク
- 音楽タイトル、DivX、MP3、WMA、または写真ファイルが記録されたBD-R/REディスク。

DVDビデオ (8 cm / 12 cm ディスク)
販売やレンタルされている映画などのディスク

DVD-R (8 cm / 12 cm ディスク)
- ビデオモードで記録され、ファイナライズされているディスク
- デュアルレイヤーディスク対応
- AVCHD フォーマット
- 音楽タイトル、DivX、MP3、WMA、または写真ファイルが記録されたDVD-Rディスク。

DVD-RW (8 cm / 12 cm ディスク)
- VRモードやビデオモードで記録され、ファイナライズされているディスク
- AVCHD フォーマット
- 音楽タイトル、DivX、MP3、WMA、または写真ファイルが記録されたDVD-RWディスク。

DVD+R (8 cm / 12 cm ディスク)
- ファイナライズされているディスク
- デュアルレイヤーディスク対応
- AVCHD フォーマット
- 音楽タイトル、DivX、MP3、WMA、または写真ファイルが記録されたDVD+Rディスク。

DVD+RW (8 cm / 12 cm ディスク)
- ビデオモードで記録され、ファイナライズされているディスク
- AVCHD フォーマット
- 音楽タイトル、DivX、MP3、WMA、または写真ファイルが記録されたDVD+RWディスク。

オーディオCD (8 cm / 12 cm ディスク)
販売されているオーディオCD やオーディオCD 形式の CD-R/CD-RW

CD-R/CD-RW (8 cm / 12 cm ディスク)
音楽タイトル、DivX、MP3、WMA、または写真ファイルが記録されたCD-R/CD-RW。

注記:

- 記録装置、または CD-R/RW (または DVD±R/RW) ディスクの状態によっては、本機で再生できない CD-R/RW (または DVD±R/RW) ディスクがあります。
- ディスクのいずれの面 (レーベル面および録画面) にも、シールやラベルなどは絶対に貼らないでください。
- 特殊な形のディスク(ハート型や八角形など) は使用しないでください。故障の原因になります。
- ソフトウェアの記録方法やファイナライズによっては、記録したディスク (CD-R/RW または DVD±R/RW) が再生できない場合があります。
- パソコン、DVDレコーダー、CDレコーダーで記録した DVD±R/RW や CD-R/RW ディスクは、ディスクが破損または汚れていたり、本機のレンズに汚れや結露があると、再生できない場合があります。
- パソコンを使って記録したディスクは、ディスクを作成する際に使用したアプリケーションのソフトウェアの設定によって、共通フォーマットで記録されていても再生できない場合があります。(詳細についてはソフトウェアの発売元にお問い合わせください。)
- 高画質で再生するには、ディスクや記録方法が技術的な一定の基準を満たしている必要があります。あらかじめ収録されている DVD は、これらの基準が自動的に設定されています。記録可能なディスクのフォーマットには、多数の種類 (MP3 や WMA のファイル名の拡張子が付いた CD-R など) がありますが、再生の互換性を保つために、これらには特定の決まった条件があります。
- インターネットから MP3/WMA ファイルや音楽をダウンロードするには許可が必要であることにご注意ください。当社にはそのような許可を与える権利はありません。常に著作権所有者の許可が必要です。

BD-ROM ディスクの機能

BD-ROM ディスクは、片面一枚で DVD の約 5 〜 10 倍の 25 GB（1 層）、または 50 GB（2 層）の容量があります。
また BD-ROM ディスクは、業界で最も高品質の HD 映像（最大 1920 x 1080 画素）もサポートしています。映像を高画質で楽しむことができる大容量ディスクです。

- 以下に記載する BD-ROM ディスクの機能は、使用するディスクにより変わります。
- また外観やナビゲーション機能もディスクによって変わります。
- 以下に記載する機能のすべてが、ディスクに搭載されているわけではありません。
- BD-ROM のハイブリッド・ディスクは、BD-ROM 層 と DVD 層（または CD 層）の両方を片面に備えています。本機ではこのようなディスクは、BD-ROM 層のみが再生されます。

映像の特性
映画などを記録して市販されている BD-ROM のフォーマットは、MPEG-2、MPEG4 AVC (H.264) に加え SMPTE VC1 のような先進的ビデオコーデックにも対応しています。
HDビデオの以下の解像度にも対応しています。

- 1920 x 1080 HD
- 1280 x 720 HD

グラフィック・プレーン
HDビデオレイヤーとして、2つのフル HD 解像度（1920x1080）のグラフィック・プレーン (層) を利用できます。1つのプレーンは映像関連の、フレームに正確な画像（字幕など）に対応し、残り 1つのプレーンは画面操作ボタンやメニューなどのインタラクティブなグラフィック要素に対応します。どちらのプレーンも、ワイプ、影、スクロールなどの多様な効果に利用できます。

高解像度での再生
BD-ROM ディスクで 高解像度のコンテンツを楽しむには、HDTV が必要です。また高解像度コンテンツを鑑賞するのに、HDMI 出力が必要なディスクもあります。BD-ROM ディスクによる高解像度コンテンツの機能は、お使いのテレビの解像度によって制限される可能性があります。

音声メニュー
メニュー項目をハイライトまたは選択すると、ボタンのクリック音やハイライトして選択したメニューの音声説明を聞くことができます。

マルチページ/ ポップアップメニュー
従来の DVDビデオでは、メニュー画面に新しくアクセスするごとに本編の再生が中断されます。BD-ROM ディスクでは本編再生を中断することなくディスクからデータの読み込みができるため、メニュー画面を複数のページに重ねて展開することができます。
音声や映像を背景で再生しながら、メニュー画面を操作したり、別のメニュー項目を選択することができます。

インタラクティブ機能
特定の BD-ROM ディスクでは、アニメ化されたメニューやトリビアゲーム、またはその両方を楽しめるものもあります。

スライドショーの閲覧
BD-ROM ディスクでは、音声を再生したままの状態で、いろいろな静止画像を閲覧することができます。

字幕
BD-ROM ディスクに搭載されている機能によっては、字幕のフォント、スタイル、サイズ、色を選択できる場合があります。また字幕はアニメ化、スクロール、表示や非表示もできます。

BD-J インタラクティブ機能
BD-ROM フォーマットは、インタラクティブ機能として Java に対応しています。「BD-J」はインタラクティブな BD-ROM のタイトルにて、無制限に近い機能のコンテンツプロバイダを提供できます。

BD-ROM ディスクの互換性
本機は BD-ROM Profile 2 に対応しています。

- BD-LIVE（BD-ROM規格バージョン2 Profile 2）をサポートするディスクは、BONUSVIEW (ボーナスビュー) に加え、インターネットに接続することでインタラクティブ機能に対応できます。
- BONUSVIEW（BD-ROM バージョン2 Profile 1 version 1.1/Final Standard Profile）をサポートするディスクは、仮想パッケージやピクチャー・イン・ピクチャー機能に対応しています。

リージョンコード

本機の背面には、リージョンコードが印刷されています。本機では、背面に印刷されたラベルと同じリージョンコード、またはリージョンコード「ALL」のBD-ROM、DVD ディスクのみ再生することができます。

AVCHD規格 (Advanced Video Codec High Definition)

- 本機は、AVCHD規格で記録されたディスクを再生できます。このディスクは通常、ビデオカメラの録画に使用されます。
- AVCHD 規格は、ハイビジョンデジタルビデオカメラの記録方式です。
- MPEG-4 AVC/H.264 フォーマットは、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮率で画像を圧縮することができます。
- 「x.v.Color」規格を採用する AVCHD ディスクもあります。
- 本機は、「x.v.Color」規格を採用している AVCHD ディスクを再生できます。
- 記録状態によっては、再生できない AVCHD 規格のディスクもあります。
- AVCHD 規格のディスクは、ファイナライズする必要はありません。
- 「x.v.Color」は、通常の DVD ビデオカメラのディスクと比べ広い色域を提供できます。

互換性についての注意

- BD-ROM は新しい規格のため、特定のディスク、デジタル接続、およびその他の互換性などで問題が発生する可能性があります。互換性による問題が発生した場合は、当社が承認したカスタマーサービスセンターにご連絡ください。
- 高解像度のコンテンツを観賞したり、標準の DVD コンテンツをアップコンバージョンするには、HDMI に対応した入力端子、または HDCP 対応の DVI 入力端子のあるディスプレイ機器が必要です。
- BD-ROM や DVD ディスクには、操作や機能の使用を制限するものもあります。
- 本機の音声出力に HDMI 接続を使用すると、ドルビーTrueHD、ドルビーデジタルプラス、DTS-HD は、最大 7.1 チャンネルの音声出力が対応できます。
- USB フラッシュメモリーを利用して、インターネットでダウンロードしたコンテンツのディスク関連の情報を保存することができます。この情報を保管する期間の管理を、ご使用のディスクで行うことができます。

必要なシステム環境

高解像度の映像を再生するには：

- D端子、コンポーネント、または HDMI 入力端子を装備した高解像度ディスプレイ が必要です。
- 高解像度コンテンツを収録した BD-ROM ディスクが必要です。
- コンテンツによっては、HDMI または HDCP 対応 DVI 入力端子のあるディスプレイ機器が必要な場合があります（ディスク作成者により指定されています）。
- 不正コピー防止されているコンテンツでの標準解像度の DVD のアップコンバージョンでは、HDMI または HDCP 対応 DVI 入力端子のあるディスプレイ機器が必要です。

ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS-HD などのマルチチャンネルオーディオの再生には：

- アンプやレシーバに、デコーダー (ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS、DTS-HD) の搭載と、選択したオーディオフォーマット分のメインスピーカー、センタースピーカー、サラウンドスピーカー、およびサブウーファーが必要です。

リモコン

1

開/閉 (⏏) ボタン: ディスクトレイの開/閉をします。

テレビ電源ボタン: テレビの電源をオン/オフします。

電源ボタン: 本機の電源をオン/オフします。

オーディオ (ↀ) ボタン: 音声言語、または音声チャンネルを切り換えます。

字幕 オン/オフボタン: 字幕をオン/オフします。

字幕 (メニュー) ボタン: 字幕言語を切り換えます。

タイトル/ポップアップボタン: DVD のタイトルメニューや BD-ROM にポップアップメニューがある場合は表示します。

ディスプレイボタン: 画面表示を表示/終了します。

ホームボタン: [ホーム メニュー] を表示/終了します。

ディスクメニューボタン: ディスクのメニューを表示します。

2

矢印ボタン : メニューの項目を選択します。

決定 (⦿) ボタン: 選択したメニューを決定します。

戻る (↶) ボタン: メニューの終了、またはレジューム再生をします。BD-ROM のディスクによっては、レジューム機能が動作しない場合もあります。

マーカーボタン: 再生中、お好きなシーンにマークを付けます。

サーチボタン: 検索メニューを表示/終了します。

カラー (A, B, C, D) ボタン : BD-ROM メニューの操作に使用します。[ムービー]、[写真]、[音楽] 、[YouTube] メニューにも使用します。

3

■ (停止) ボタン: 再生を停止します。

► (再生) ボタン: 再生を開始します。

II (一時停止) ボタン: 再生を一時停止します。

◀◀ / ▶▶ (巻戻し/早送り) ボタン: 巻戻し/早送りをします。

I◀◀ / ▶▶I (スキップ) ボタン: 前や次のファイル/トラック/チャプターに進みます。

4

ズームボタン : [ズーム] メニューを表示/終了します。

PIP オーディオ* ボタン : サブトラック音声をオン/オフします (BD-ROM のみ)。

PIP* ボタン : サブトラック映像 (ピクチャーインピクチャー) をオン/オフします (BD-ROM のみ) 。

テレビ コントロール ボタン : 42ページ参照 。

0〜9 番号ボタン : メニューにて項目の番号を選択します。

クリアボタン: 検索メニューのマークや設定したパスワードの番号を解除します。

リピートボタン: 選択したセクションやシーケンスを繰り返し再生します。

解像度ボタン: HDMI 出力、D端子出力、コンポーネント/プログレッシブスキャン端子の出力解像度を設定します。

* BD-ROM ディスクのディスクタイプや録画されているコンテンツ、またはその他のメディアにより実行される機能が異なったり、ボタンを押しても何の反応もありません (使用するメディアによって変わります) 。

リモコン操作

リモコン受光部にリモコンを向け、ボタン操作します。

リモコンに電池を入れます

リモコンの裏にある電池カバーを取り外し、単4形乾電池 (R03/AAA)の ⊕ と ⊖ の向きを正しく合わせて挿入します。

本体前面

1 **ディスクトレイ**
ディスクをここに挿入します。

2 **⏏ (開/閉) ボタン**
ディスクトレイの開/閉をします。

3 **⏻ (電源) ボタン**
本機の電源をオン/オフします。

4 **► / ❙❙ (再生/一時停止) ボタン**
再生を開始します。
再生を一時停止します。
もう一度押すと、一時停止を解除します。

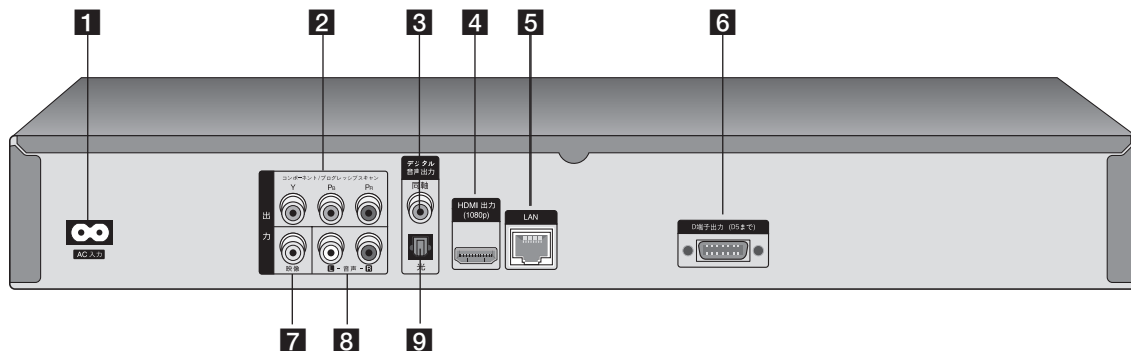
5 **表示窓**
本機の現在の状態を表示します。

6 **リモコン受光部**
ここに向けてリモコンを操作します。

7 **■ (停止) ボタン**
再生を停止します。

8 **I◄◄ / ►►I (スキップ) ボタン**
前や次のファイル/トラック/チャプターに進みます。

9 **USB ポート**
USB フラッシュメモリーを接続します。

本体後面

1 AC IN 端子
付属の電源コードを接続します。

2 コンポーネント/プログレッシブスキャン (Y PB PR) 端子
テレビのコンポーネント入力端子に接続します。

3 デジタル音声出力 (同軸) 端子
デジタル (同軸) 音声機器に接続します。

4 HDMI 出力 (タイプ A)
テレビの HDMI 入力端子に接続します (デジタル音声と映像のインターフェースです)。

5 LAN ポート
ご家庭のブロードバンドのネットワークに接続します。

6 D端子出力 (D5 まで)
テレビの D端子入力 (D1~D5) に接続します

7 映像
テレビの映像入力端子に接続します。

8 音声 (L/R) 端子
テレビの 2 チャンネル音声入力端子に接続します。

9 デジタル音声出力 (光) 端子
デジタル (光) 音声機器に接続します。

テレビとの接続

お持ちの機器の対応をご確認し、以下の接続方法から一つだけ行ってください。

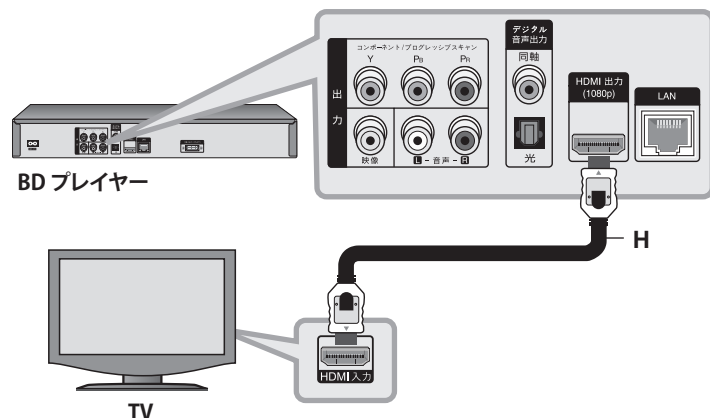
ヒント：

- 接続するテレビやその他周辺機器によって、本機への接続方法は数多くあります。次に記載する接続方法のうち、一つだけを選んで行ってください。
- 最良の接続を行うために、必要に応じてお持ちのテレビ、ステレオシステム、またはその他周辺機器の取扱説明書をご覧ください。

注意：

- 本機が直接テレビに接続されていることを確認してください。テレビを正しいビデオ入力チャンネルに合わせます。
- 本機の AUDIO OUT 端子を、お持ちのオーディオシステムの phono 端子（レコードプレイヤー用端子）に接続しないでください。
- お使いのビデオ経由で本機をテレビに接続しないでください。著作権保護の規定により画像が乱れる場合があります。
- 付属ケーブルに関しては46ページを参照ください。明記されていないケーブルに関しては別売りとなります。

HDMI の接続

HDMI 入力端子のあるテレビやモニターをお持ちの場合は、HDMI ケーブルを使用して本機に接続することができます。

本機の HDMI 端子を、HDMI 対応のテレビやモニターの HDMI 端子に接続します（**H**）。
テレビの入力モードを HDMI に設定します（テレビの取扱説明書を参照してください）。

注記：

接続した HDMI 対応のテレビやモニターが本機のオーディオ出力に対応していない場合、HDMI 対応のテレビやモニターのオーディオサウンドが乱れる、あるいは出力されない場合があります。

ヒント：

- HDMI 接続の場合、HDMI 出力の解像度を切り換えることができます （16～17ページの「解像度の設定」を参照してください）。
- [設定] メニューの [HDMIカラー設定] 項目で、映像出力タイプをHDMI 出力端子から選択します。

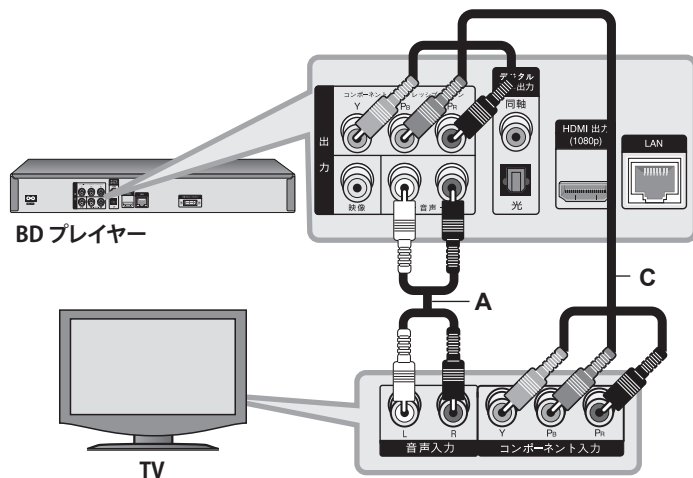
注意：

- 接続がすでに確立されている状態で解像度の切り換えを行うと故障の原因になる場合があります。問題を解決するには、本機の電源を切り、再度電源を入れ直してください。
- HDCP での HDMI 接続に対応していない場合は、テレビ画面は黒画面に変わります。この場合は、HDMI 接続の確認をするか、HDMI ケーブルをはずしてください。
- 画面にノイズやラインなどの乱れがある場合は、HDMI ケーブルを確認してください （通常、長さは4.5 メートルに制限されています）。

HDMI における追加情報

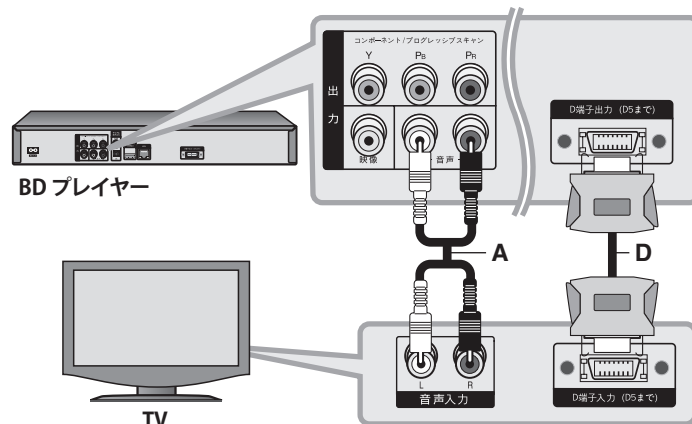
- HDMI や DVI 対応の機器に接続する場合は、以下のことを確認してください。
  - まず本機と HDMI/DVI 機器の電源を切ります。次に、HDMI/DVI 機器の電源を入れ、30 秒ほど待ってから本機の電源を入れます。
  - 接続した機器の映像入力が、正しく本機に設定されているか確認します。
  - 接続する機器は、720x480p、1280x720p、1920x1080i、1920x1080p の解像度の映像入力に対応します。
- HDCP 対応の HDMI や DVI 機器のすべてが本機に対応しているわけではありません。
  - HDCP 対応機器以外では、本機の再生画面ではなく黒い画面になるなど、画像が正しく表示されない場合があります。

コンポーネントビデオの接続

Y Pb Pr ケーブルを使用して、本機のコンポーネント/プログレッシブスキャン端子とテレビの対応する入力端子とを接続します **(C)**。
オーディオケーブル使用して、本機の AUDIO OUT 端子の左と右を、テレビの音声入力端子の左と右に接続します **(A)**。

ヒント:

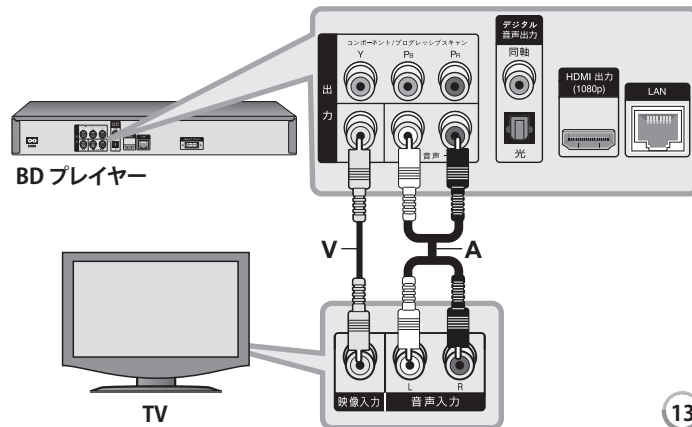
コンポーネント/プログレッシブスキャン端子を接続すると、映像の出力解像度を切り換えることができます（16〜17ページの「解像度の設定」を参照してください）。

D端子の接続

D端子ケーブルを使用して、本機の D端子出力とテレビの対応する入力端子とを接続します **(D)**。
オーディオケーブル使用して、本機の AUDIO出力 端子の左と右を、テレビの音声入力端子の左と右に接続します **(A)**。

ヒント:

D端子出力を接続すると、映像の出力解像度を切り換えることができます（16〜17ページの「解像度の設定」を参照してください）。

映像/オーディオ（左/右）の接続

ビデオケーブルを使用して、本機の映像端子をテレビの映像端子に接続します **(V)**。オーディオケーブル使用して、本機の AUDIO OUT 端子の左と右を、テレビの音声入力端子の左と右に接続します **(A)**。

アンプとの接続

お持ちの機器の対応をご確認し、以下の接続方法から一つだけ行ってください。

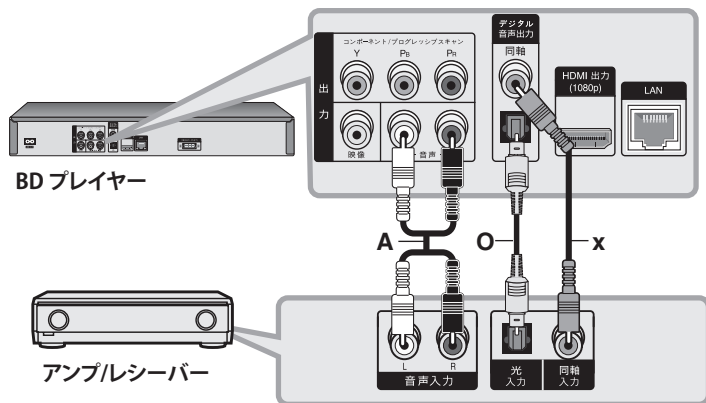
注記：

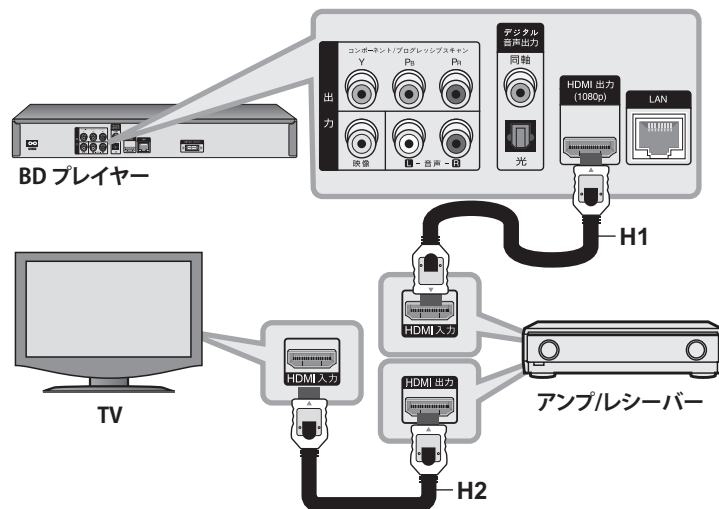
オーディオ出力では多くの要素が影響するため、詳しくは 15 ページの「本機でのオーディオ出力の仕様」をご覧ください。

2 チャンネルオーディオ出力端子とアンプを接続する

オーディオケーブルを使用して、本機の音声端子の左と右を、お持ちのアンプ、レシーバー、またはステレオシステムのオーディオ端子の左と右に接続します **(A)**。

デジタルオーディオ出力端子とアンプとを接続する (光または同軸)

本機のデジタル音声出力端子と、お持ちのアンプの対応する端子（光 **O** または 同軸 **X**）を接続します。別売りのデジタルオーディオケーブル（光 **O** または同軸 **X**）をお使いください。また本機のデジタル音声出力の設定をする必要があります（23～24ページの「[オーディオ] メニュー」を参照してください）。

HDMI 出力とアンプを接続する

本機のHDMI 出力端子と、お持ちのアンプの対応する端子を接続してください。HDMI ケーブルを使用してください **(H1)**。また本機のデジタル音声出力の設定をする必要があります（23～24ページの「[オーディオ] メニュー」を参照してください）。

マルチチャンネルデジタルサウンド

デジタルマルチチャンネルによる接続で、最高の音質でのサウンドをお楽しみいただけます。本機が対応するオーディオフォーマットのうちの一つ以上に対応しているマルチチャンネル オーディオ/ビデオレシーバーが必要です。レシーバーの取扱説明書、またはレシーバー前面にあるロゴをご確認ください (PCM ステレオ、PCM マルチチャンネル、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、DTS、DTS-HD)。

ヒント:

お持ちのアンプに HDMI 出力端子がある場合は、HDMI ケーブル **(H2)** を使用して、アンプの HDMI 出力端子をお持ちのテレビの HDMI 入力端子に接続してください。

注記：

- [設定] メニューの [SPDIF]、[HDMI]、そして [サンプリング周波数] 項目で、お使いのアンプ（またはオーディオ/ビデオレシーバー）が対応するデジタルオーディオ出力と最大サンプリング周波数を選択してください（23～24 ページ参照）。
- デジタルオーディオ接続（SPDIF または HDMI）にて、[SPDIF] または [HDMI] 項目が [プライマリパススルー] に設定されていると、BD-ROM のディスクメニューのボタン音が出力されない場合があります。
- デジタル出力でのオーディオフォーマットが、お持ちのレシーバーに互換性のない場合は、大きく歪んだオーディオが出力されるか、まったく出力されません。
- お持ちのレシーバーがマルチチャンネルのデジタルデコーダーを搭載している場合にのみ、デジタルオーディオからのマルチチャンネルのデジタルサウンドをお楽しみいただけます。
- お使いのディスクのオーディオフォーマットをオンスクリーン・ディスプレイ機能で確認するには、オーディオを押してください。

本機でのオーディオ出力の仕様

端子と設定 / 種類	アナログ出力 ステレオ	SPDIF (デジタル音声出力)		
		PCM ステレオ	DTS 再エンコード *3	プライマリパススルー *1
Dolby Digital	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
Dolby Digital Plus	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
Dolby TrueHD	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
DTS	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	DTS
DTS-HD	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	DTS
Linear PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	PCM 2ch
Linear PCM 5.1ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	PCM 2ch
Linear PCM 7.1ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	PCM 2ch

端子と設定 / 種類	HDMI 出力			
	PCM ステレオ	PCM Multi-Ch	DTS 再エンコード *3	プライマリパススルー *1, *2
Dolby Digital	PCM 2ch	PCM 5.1ch	DTS	Dolby Digital
Dolby Digital Plus	PCM 2ch	PCM 7.1ch	DTS	Dolby Digital Plus
Dolby TrueHD	PCM 2ch	PCM 7.1ch	DTS	Dolby TrueHD
DTS	PCM 2ch	PCM 5.1ch	DTS	DTS
DTS-HD	PCM 2ch	PCM 5.1ch	DTS	DTS-HD
Linear PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	PCM 2ch
Linear PCM 5.1ch	PCM 2ch	PCM 5.1ch	DTS	PCM 5.1ch
Linear PCM 7.1ch	PCM 2ch	PCM 7.1ch	DTS	PCM 7.1ch

注記：

*1 [SPDIF] または [HDMI] 項目が [プライマリパススルー] に設定されていると、サブトラック音声とインタラクティブ オーディオはビットストリーム出力に混合されません（リニア PCM コーデックは除きます。インタラクティブ オーディオとサブトラック音声は常に混合されて出力されます）。

*2 本機は、[HDMI] 項目が [プライマリパススルー] に設定されていても、接続している HDMI 機器のデコーディング機能に応じて自動的に HDMI オーディオを選択します。

*3 [HDMI] または [SPDIF] 項目が [DTS再エンコード] に設定されていると、オーディオ出力は 48 kHz の 5.1 Ch に制限されます。

- 再生オーディオは、MP3/WMA ファイルでは PCM 48 kHz/16 ビット で出力され、オーディオCD では PCM 44.1kHz/16 ビット で出力されます。

解像度の設定

本機では、HDMI出力、D端子出力、コンポーネント/プログレッシブスキャン端子からの映像を、いくつかの解像度にて出力することができます。
[設定] メニューか、または停止モードで解像度ボタンを押して解像度を切り換えます。

注記：

ビデオ出力の解像度には複数の要因が影響するため、次ページの「解像度設定で選択できる解像度」を参照してください。

解像度ボタンを使用した解像度の変更方法

停止モード中に解像度ボタンを繰り返し押して解像度を切り換えます。現在設定されている解像度が表示窓に表示されます。

[設定] メニューを使用した解像度の変更方法

1. ホームを押して、[ホーム メニュー] を表示します。
2. [設定] を選択してから決定を押します。
   [設定] メニューが表示されます。
3. ∧ / ∨ で [表示] の項目を選択してから、> を押して第 2 階層へと移動します。
4. ∧ / ∨ で [解像度] の項目を選択してから、> を押して第 3 階層へと移動します。
5. ∧ / ∨ で希望する解像度を選択してから決定を押して設定を終了します。

注記：
お使いの HDMI テレビが対応していない解像度を選択したり、コンポーネント/プログレッシブスキャンや D端子出力への接続で 1080p の解像度を選択すると、警告メッセージが表示され、選択した解像度設定の続行について質問されます。
10 秒以内に質問に対応しないと、解像度は自動的に前に設定していた解像度に戻ります。

解像度設定で選択できる解像度

• 著作権保護されていないメディアを再生する場合

解像度の設定 ＼ ビデオ出力	HDMI 出力	コンポーネント/プログレッシブスキャン, D端子出力
480i	480i	480i
480p	480p	480p
720p	720p	720p
1080i	1080i	1080i
1080p / 24Hz	1080p / 24Hz	1080p / 60Hz *1, *2
1080p / 60Hz	1080p / 60Hz	1080p / 60Hz *2

• 著作権保護されているメディアを再生する場合

解像度の設定 ＼ ビデオ出力	HDMI 出力	コンポーネント/プログレッシブスキャン, D端子出力
480i	480i	480i
480p	480p	480p
720p	720p	480p
1080i	1080i	480p
1080p / 24Hz	1080p / 24Hz	480p *1
1080p / 60Hz	1080p / 60Hz	480p

注記:
- お持ちのディスプレイによっては、画像が消えたり、不自然な画像が表示される可能性のある解像度設定があります。この場合、画像が再表示されるまで、ホームを押してから、解像度を繰り返し押してください。
- 本機では、すべての映像出力端子から同時に出力される仕様となっています。ただし HDMI 出力の解像度は、コンポーネント映像出力と D端子出力からの出力解像度と異なる場合があります。

*1 1080p/24Hz の映像出力が HDMI 接続から出力されていると、映像端子、D端子出力端子、コンポーネント/プログレッシブスキャン端子からは映像信号は出力されません。

*2 解像度が 1080p に設定されていても、著作権保護されていない BD や DVD の再生時は 1080i の解像度で出力されます。

HDMI 出力端子との接続

- 解像度をご自身で選択してテレビの HDMI 端子に接続しても、お持ちのテレビがその接続に対応しない場合は、解像度の設定は [自動] に設定されます。
- 1080p の映像信号でのビデオ出力フレームレートは、接続されているテレビの仕様と優先設定、または BD-ROM ディスクに収録されたコンテンツの映像信号のフレームレートによって、24Hz と 60Hz のどちらかが自動的に設定される場合があります。

コンポーネント/プログレッシブスキャン端子との接続

- 著作権保護されているメディアにて 720p、1080i、1080p の解像度に設定した場合、コンポーネント/プログレッシブスキャン端子と D端子出力からの実際の出力解像度は、480p となります。
- BD または DVD のビデオストリームでは、アナログ出力のアップコンバートができない可能性があります。

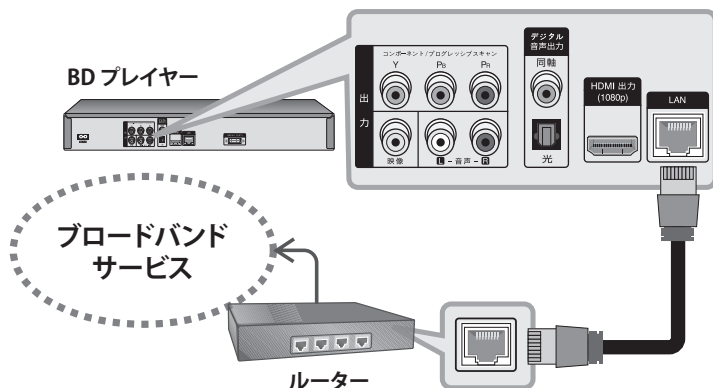
映像端子との接続

映像端子からの解像度は、常に 480i で出力されます。

インターネット接続

本機は背面パネルの LAN ポートから、ローカルエリアネットワーク（LAN）に接続することができます。
実際に LAN に接続してから、本機のネットワークコミュニケーションを設定してください。これは [設定] メニューから行うことができます。詳細については、26 ページの [ネットワーク] メニュー」をご覧ください。

LAN ケーブルを使用して、本機の LAN ポートをお持ちのモデムかルーターの LAN ポートに接続してください。
市販の LAN ストレートケーブルをご使用してください（RJ45 形状のコネクタで、カテゴリー5 (CAT5) 準拠以上のケーブル）。

本機をブロードバンド回線に接続することで、ソフトウェア更新や BD-LIVE 機能、YouTube 機能をご利用いただけます。

注意：

- LAN ケーブルの抜き差しは、プラグの部分を持って行ってください。LAN ケーブルを抜くときは、ケーブルを引かずにプラグのツメを押しながら抜きます。
- 電話用のモジュラーケーブルを LAN ポートに接続しないでください。
- 接続にはいろいろな方法がありますので、お客様がご利用されている電話会社やインターネットサービスプロバイダの仕様に従ってください。

注記：

- インターネットサービスプロバイダ（ISP）によっては、サービス条件が決められており、インターネットサービスに接続できる機器の数が限られている場合があります。詳細については、お使いの ISP にお問い合わせください。
- 弊社は、お客様がご利用されているブロードバンド回線での接続、またはその他接続機器から起こるコミュニケーションエラーや故障が原因での、本機やインターネット接続での機能不能、またはその両方についての一切の責任を負いません。
- また弊社は、ご利用のインターネット接続に関するトラブルには一切の責任を負いません。
- 弊社では、インターネット接続機能からご利用できる BD-ROM ディスク機能の作成や提供は行っておりません。また、それらの機能や将来の利用性などについての責任も負いません。インターネット接続でご利用可能なディスク関連のマテリアルの中には、本機と互換性のないものもあります。このようなコンテンツについてのご質問は、ディスクの製造メーカーにお問い合わせください。
- インターネットのコンテンツには、広帯域幅の接続が必要なものもあります。
- 正しく接続と設定がされていても、インターネットのコンテンツの中には、ご利用のインターネットサービスの回線の渋滞、質、帯域幅など、コンテンツのプロバイダー側の問題などが理由で正常に作動しない場合があります。
- ご利用しているブロードバンド回線の接続を提供しているインターネットサービスプロバイダ（ISP）で設定された制限により、インターネット接続の操作が正しくできない場合もあります。
- 接続料やその他 ISP より請求される手数料は、すべてお客様のご負担となります。
- 10BASE-T または100BASE-TX での LAN ポートの接続が本機には必要です。ご利用のインターネットサービスがこのような接続に対応していない場合は、本機との接続はできません。
- xDSL サービスをご利用になるには、ルーターが必要です。

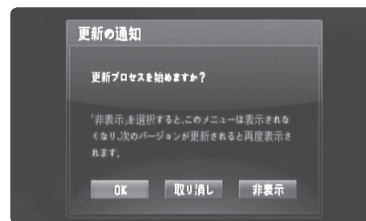
- DSL サービスをご利用するには DSL モデムが必要です。またケーブルモデムサービスをご利用するにはケーブルモデムが必要です。ご利用の ISP のアクセス方法と契約内容によっては、本機に搭載されているインターネット接続の機能をご利用できなかったり、同時に接続できる機器の数が制限されている可能性もあります（ご利用の ISP の契約が 1 台のみの接続に制限されている場合は、パソコンの接続中に本機を接続できない可能性があります）。
- ご利用の ISP の規制や制限によっては、「ルーター」を使用できない、またはルーターの使用が制限されている可能性があります。詳細については、ご利用の ISP に直接お問い合わせください。
- MAC ADDRESS を確認する際に、ご利用の ISP が本機からのネットワーク接続を拒否する場合があります。このような場合は、ご利用の ISP に MAC ADDRESS の初期化をご依頼してください。

ネットワーク更新の通知

新しいソフトウェアがアップデートサーバにアップロードされると、本機はネットワーク接続経由で更新できる最新のソフトウェアがあることをお知らせします。以下の説明に従ってください。

オプション 1:

1 本機の電源を入れると、画面に更新メニューが表示されます。

2 < / > でご希望する項目を選び、決定を押します。
[OK] - ソフトウェアの更新を開始します（詳細については、41 ページを参照してください）。
[取り消し] - 更新メニューを終了します。
[非表示] - 更新メニューを終了し、アップデートサーバに次のソフトウェアがアップロードされるまで表示されません。

オプション 2:

アップデートサーバに利用可能なソフトウェアの更新があると、「ソフトウェアの更新」アイコンがホームメニューの下部に表示されます。青色のボタンを押して更新手続きを開始します（詳細については、41 ページを参照してください）。

ソフトウェアの更新

USB フラッシュメモリーを使用する

本機は、USB フラッシュメモリーに記録した動画、音楽、写真などのファイルを再生することができます。	リモコン
1. USB フラッシュメモリーを USB ポートに挿入する	**–**
2 [ホーム メニュー] を表示する	**ホーム**
3 メイン項目を以下より選択する [音楽]、[写真]、[ムービー]	**< >, 決定**
4 [USB] を選択する	**< >**
5 メニューリストを表示する [音楽]、[写真]、[ムービー] メニューを表示する メニューの詳細については、33～37 ページを参照	**決定**

ヒント：

USB フラッシュメモリーとディスクが同時に挿入されている時に、[ムービー]、[写真]、または [音楽] の項目を選ぶと、メディアを選択するメニューが表示されます。メディアを選択してから、決定を押してください。

USB フラッシュメモリーの挿入と取り外し

USB フラッシュメモリーを挿入する – まっすぐ奥まで差し込みます。

USB フラッシュメモリーを取り外す – 注意しながら、USB フラッシュメモリーを取り外します。

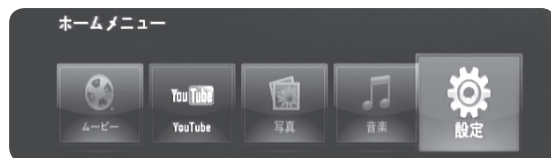
右フロントカバーをあけた状態

BD プレイヤー　　**USB フラッシュメモリー**

注記：

- 本機は FAT16 または FAT32 フォーマットのUSB フラッシュメモリーのみに対応しています。
- USB フラッシュメモリーは、インターネットで BD-LIVE のディスクを楽しむためのローカル記憶領域に使用することができます。
- 再生などの操作中には USB フラッシュメモリーを取り外さないでください。
- パソコンに接続すると追加プログラムのインストールが必要となる USB フラッシュメモリーには対応していません。
- USB フラッシュメモリーは、USB1.1 および USB2.0 のものに対応しています。
- 動画ファイル (DivX)、音楽ファイル (MP3/WMA)、写真フィル (JPEG/PNG) の再生ができます。各ファイルの操作についての詳細は、それぞれの関連ページを参照してください。
- データの損失を避けるために、定期的なバックアップをお勧めします。
- USB 延長ケーブルや USB ハブを使用すると、USB フラッシュメモリーが認識されない可能性があります。
- 本機では動作しない USB フラッシュメモリーがある場合があります。
- デジタルカメラや携帯電話はサポートしていません。
- 本機の USB ポートとパソコンは接続できません。本機をストレージデバイスとして使用することはできません。

ホーム メニューの使い方

	リモコン
1 [ホーム メニュー] を表示する	ホーム
2 項目を選択する	< >
3 メニューの項目を選択してから表示する	決定
4 [ホーム メニュー] を終了する	ホーム

[ムービー] – 映像メディアを再生したり、[ムービー] メニューを表示します。

[YouTube] – YouTube の動画を、ご使用のテレビで楽しめます (38～40 ページ)。

[写真] – メニューを表示します (36～37 ページ)。

[音楽] – [音楽] メニューを表示します (35～36 ページ)。

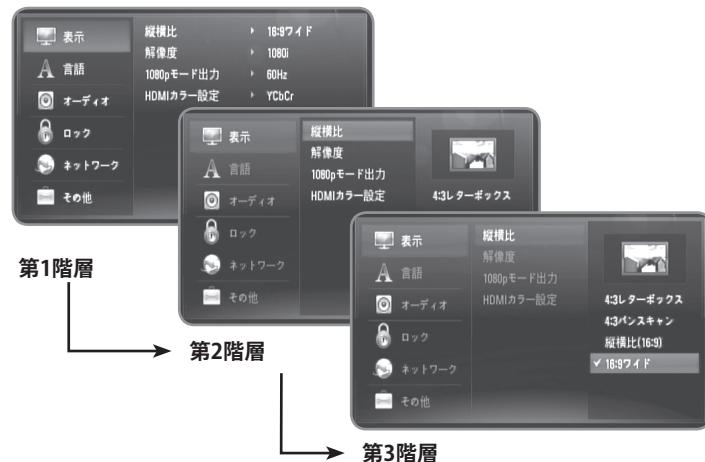
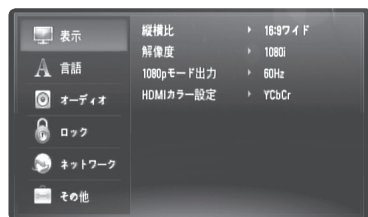
[設定] – [設定] メニューを表示します (21～27 ページ)。

ヒント：

- USB フラッシュメモリーとディスクが同時に挿入されている時に、[音楽]、[写真]、または [ムービー] のオプションを選ぶと、メディアを選択するメニューが表示されます。メディアを選択してから、決定を押してください。
- ネットワークに利用可能なソフトウェアの更新があると、[ホーム メニュー] に「ソフトウェアの更新」が表示されます。本機を更新するには、青ボタンを押してください。詳細については、41ページを参照してください。

注記：
再生中にホームを押すと、本機は停止モードになり [ホーム メニュー] を表示します。

セットアップの設定

	リモコン
1 [ホーム メニュー] を表示する	ホーム
2 [設定] を選択する	< >, 決定
3 第 1 階層で希望する項目を選択する	∧ ∨
4 第 2 階層に移動する	>
5 第2階層で希望する項目を選択する	∧ ∨
6 第3階層に移動する	>
7 セットアップの設定と確定をする	∧ ∨, 決定
8 前の階層に戻る	<
9 [設定] メニューを終了する	ホーム

[表示] メニュー

縦横比

[4:3 レター ボックス] – 4:3 のアスペクト比である従来サイズのテレビが接続されている場合に選択します。ワイドスクリーンの画像では、上下に黒帯が付いた状態で映像を表示します。

[4:3 パン スキャン] – 4:3 のアスペクト比である従来サイズのテレビが接続されている場合に選択します。ワイドスクリーンの画像では、テレビ画面に映像が収まるようにカットされて表示されます。映像の両側が切り落とされます。

[縦横比(16:9)] – 16:9 のアスペクト比であるワイドテレビが接続されている場合に選択します。4:3 の映像では左右の両側に黒帯が付いた状態で、オリジナルの 4:3 アスペクト比で表示されます。

[16:9 ワイド] – 16:9 のアスペクト比であるワイドテレビが接続されている場合に選択します。4:3 の映像が、テレビ画面の全体に合わせるために水平方向（左右）に引き伸ばされます。

解像度

D端子、コンポーネント、HDMI からの映像信号の出力解像度を設定します。解像度の詳細については、16〜17 ページの「解像度の設定」を参照してください。

[自動] – HDMI 出力端子が、ディスプレイの基本情報を提供するテレビ（EDID）に接続されていると、接続されているテレビに最適な解像度を自動的に選択します。コンポーネント/プログレッシブスキャン端子や D端子出力に接続すると、解像度は初期設定である 1080i の解像度に自動的に変換されます。

[1080p] – 1080 本のプログレッシブスキャン（順次走査）方式映像出力。

[1080i] – 1080 本のインターレーススキャン（飛び越し走査）方式映像出力。

[720p] – 720 本のプログレッシブスキャン（順次走査）方式映像出力。

[480p] – 480 本のプログレッシブスキャン（順次走査）方式映像出力。

[480i] – 480 本のインターレイススキャン（飛び越し走査）方式映像出力。

1080pモード出力

解像度を 1080p に設定した場合、1080/24p 入力に対応した HDMI 端子のあるディスプレイで映画のフィルム映像（1080/24p）をスムーズに表示するには、[24Hz] を選択します。

注記：

- [24Hz] を選択した場合、ビデオと映画で映像を切り換えると、画像が乱れる場合があります。その場合は [60Hz] を選択してください。
- [1080pモード出力] が [24Hz] に設定されていても、お持ちのテレビが 1080/24p に対応していない場合は、ビデオ出力の実際のフレーム周波数は、ビデオのソースフォーマットに合うように 60Hz に変更されます。
- 1080p/24Hz の映像出力が HDMI 接続から出力されていると、映像端子、D端子出力端子、コンポーネント/プログレッシブスキャン端子からは映像信号は出力されません。

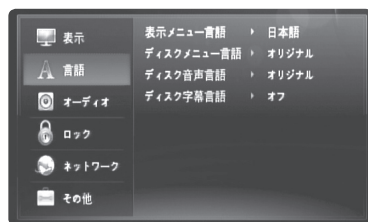
HDMIカラー設定

HDMI 出力端子からの出力の種類を選択してください。この設定については、お持ちのディスプレイ機器の取扱説明書を参照してください。

[YCbCr] – HDMI 対応のディスプレイ機器への接続時に選択します。

[RGB] – RGB ディスプレイ機器への接続時に選択します。

注記：
HDMI 出力端子を DVI ディスプレイ機器に接続する場合は、[HDMIカラー設定] は自動的に [RGB] に切り換ります。

[言語] メニュー

表示メニュー言語

[設定] メニューとオンスクリーン ディスプレイの言語を選択します。

ディスクメニュー言語 / ディスク音声言語 / ディスク字幕言語

オーディオ トラック（ディスク オーディオ）、字幕、そしてディスク メニューで表示したい言語を選択します。

[オリジナル] – ディスクが収録された時に使用された言語を参照します。

[その他] – 決定を押して別の言語を選択します。43 ページに記載された言語コードから表示したい言語の 4 桁数字を数字ボタンを使って入力し、決定を押してください。

[オフ]（ディスク サブタイトル）– 字幕を消します。

注記：
ディスクによっては、言語の設定ができないディスクがあります。

[オーディオ] メニュー

各ディスクで、いろいろなオーディオ出力の選択ができます。お持ちのオーディオシステムの種類に応じて、本機のオーディオ項目を設定してください。

注記：

オーディオ出力では多くの要素が影響するため、詳しくは 15 ページの「本機でのオーディオ出力の仕様」をご覧ください。

HDMI / SPDIF (デジタル音声出力)

HDMI またはデジタル オーディオ入力端子のある機器が、本機のHDMI 出力端子かデジタル音声出力端子に接続されている場合は、オーディオ出力の形式を選択する必要があります。

[PCM ステレオ] – 本機のHDMI 出力端子またはデジタル音声出力端子を、2 チャンネル ステレオのデジタルデコーダ機器に接続する場合に選択します。

[PCM Multi-Ch] (HDMI 接続のみ) – 本機のHDMI 出力端子をマルチチャンネルのデジタルデコーダ機器に接続する場合に選択します。

[DTS再エンコード] – 本機のHDMI 出力端子またはデジタル音声出力端子を、DTS デコーダ搭載機器に接続する場合に選択します。

[プライマリパススルー] – 本機のデジタル音声出力端子またはHDMI 出力端子を、リニアPCM、ドルビーデジタル、ドルビーデジタル プラス、ドルビー TrueHD、DTS、DTS-HD デコーダ搭載機器に接続する場合に接続します。

注記：

[HDMI] オプションが [PCM Multi-Ch] に設定されているとき、EDID 搭載の HDMI 機器から PCM マルチチャンネル情報が検知できない場合は、オーディオは PCM ステレオとして出力されます。

サンプリング周波数（SPDIF オーディオのみ）

[192KHz] – お持ちの AV レシーバーまたはアンプが 192 KHz 周波数に対応可能な場合に選択します。

[96KHz] – お持ちの AV レシーバーまたはアンプが 192 KHz 周波数に対応しない場合に選択します。この周波数を選択すると、お持ちのシステムがデコードできるように、すべての 192 KHz 周波数を 96 KHz に自動変換します。

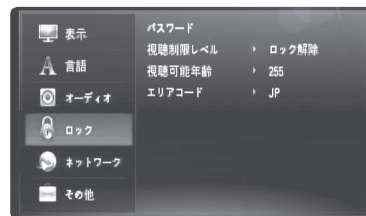
[48KHz] – お持ちの AV レシーバーまたはアンプが 192 KHz、96 KHz の周波数に対応しない場合に選択します。この周波数を選択すると、お持ちのシステムがデコードできるように、すべての 192 KHz、96 KHz の周波数を 48 KHz に自動変換します。

お持ちの AV レシーバーまたはアンプの取扱説明書をご覧になり、対応可能な仕様をご確認ください。

DRC (ダイナミックレンジコントロール)

ドルビーデジタルかドルビーデジタル プラスでエンコードされたディスクの再生中に、オーディオ出力のダイナミックレンジ（最大の音と最小の音との差）を圧縮することができます。圧縮することで、小音量でも映画などの音をはっきりと聞き取ることができます。この音響効果を楽しむには、DRC を [オン] に設定します。

[ロック] メニュー (視聴制限)

[ロック] 設定は、BD と DVD の再生時のみ利用できます。

[ロック] 設定の機能を変更するには、お客様があらかじめ設定した 4桁の暗証番号を入力します。
パスワードを入力していない場合は、最初に設定します。4桁のパスワードを入力して決定を押します。もう一度同じパスワードを入力して決定を押します。

パスワード

パスワードは、作成、変更、削除ができます。

[新規] – 4桁のパスワードを入力して決定を押します。もう一度同じパスワードを入力して決定を押し、新しいパスワードを作成します。
[変更] – 設定されているパスワードを入力して決定を押します。
4桁のパスワードを入力して決定を押します。もう一度同じパスワードを入力して決定を押し、新しいパスワードを作成します。
[削除] – パスワードを入力して決定を押し、パスワードを削除します。

ヒント:
決定を押す前に入力を間違えた場合は、< を押して一つずつ数字を削除してください。

パスワードを忘れてしまった場合

ご自分のパスワードを忘れた場合は、次のステップでパスワードを解除することができます。

1 本機にディスクが入っている場合は取り出します。
2 [設定] メニューから [ロック] の項目を選択します。
3 数字ボタンで「210499」と入力します。パスワードが解除されます。

視聴制限レベル

ディスクのコンテンツにより年齢制限が設定されているディスクの再生をブロックします（すべてのディスクに制限が付けられているわけではありません）。

[レベル 1～8] – レベル 1 は最も制限が厳しく、レベル 8 は最も制限が軽くなります。

[ロック解除] – ロック解除を選択すると、視聴制限は動作せず、すべてのディスクが再生されます。

視聴可能年齢

BD-ROM 再生の年齢制限を設定します。数字ボタンで BD-ROM を鑑賞できる年齢制限を入力します。

[255] – すべての BD-ROM を再生できます。

[0-254] – BD-ROM に記録された年齢制限によって BD-ROM の再生を禁止します。

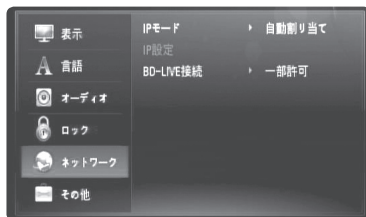
エリアコード

43 ページのリストを基に、DVD ビデオディスクの年齢制限を指定する基準の地域コードを入力してください。

[ネットワーク] メニュー

[ネットワーク] の設定は、ソフトウェアの更新や、BD LIVE、YouTube といった機能を利用するのに必要な設定です。
いくつかの BD-ROM ディスクでは、本機をインターネットに接続すると、特別な BD-ROM サイトにアクセスしたりします。例えば、BD-ROM サイトに最新の予告編などのコンテンツが含まれる場合は、本機でダウンロードすることでオンラインのコンテンツを見ることができます。
この機能を利用するために PC に接続する必要はありません。

準備:

- この機能には、常にインターネットに接続されるブロードバンド回線が必要です (18～19 ページを参照)。
- この機能に対応する BD-ROM ディスクが必要です。すべての BD-ROM に互換性があるわけではありません。

IP モード

DHCP サーバがローカルエリアネットワーク（LAN）上にある場合は、本機は自動的に IP アドレスに割り当てられます。DHCP サーバ機能を搭載したブロードバンドルーターやブロードバンドモデムをご利用の場合は、[自動割り当て] を選択してください。IP アドレスが自動的に割り当てられます。
ネットワークに DHCP サーバがなく、手動で IP アドレスを設定する場合は、[IP設定] オプションから [固定IP] を選択し、[IPアドレス]、[サブネット マスク]、[ゲートウェイ]、[DNSサーバー] を設定します。

ネットワーク設定の確認方法

[IPモード] の項目を選択し、メニューに表示されたネットワーク状態の表示を確認します（ネットワークの状態表示は、ネットワーク設定により変更されます）。

ネットワークをご利用できます

ネットワークのテスト中です

ネットワークをご利用できません

IP 設定

このオプションは、[IPモード] の項目が [固定IP] に設定されている場合にのみご利用できます。∧ / ∨ / < / > ボタンでフィールドを選択してから、数字ボタンで値を入力してください。[OK] がハイライトされたら、決定を押して終了し、画面を閉じます。

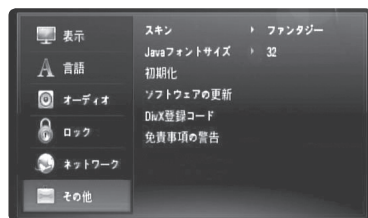
BD-LIVE接続

BD-LIVE 機能を使用する場合は、インターネットへのアクセスを制限することができます。

[許可] – すべての BD-LIVE コンテンツへのインターネットアクセスを許可します。

[一部許可] – 所有者証明書のある BD-LIVE コンテンツのみインターネットアクセスを許可します。証明書のないすべての BD-LIVE コンテンツへのインターネットアクセスと AACS オンライン機能は禁止されます。

[禁止] – すべての BD-LIVE コンテンツへのインターネットアクセスが禁止されます。

[その他] のメニュー

スキン

初期画面の背景を変更します。

Java フォントサイズ BD

BD-ROM の再生中に、BD-J コンテンツで表示される初期設定のテキストサイズを変更することができます。
この設定は、BD-J コンテンツ自体でテキストサイズが設定されていない場合にのみご利用できます。本機が HD テレビに接続されている場合は、24 より大きいフォントサイズを選択してください。

初期化

本機を工場出荷状態の設定にリセットしたり、BD ストレージを初期化することができます。

[初期設定] – 必要に応じて、本機のすべての設定を工場出荷状態にリセットすることができます。リセットされない項目もあります（年齢制限、パスワード、市外局番など）。

[BDストレージ消去] – 接続されている USB フラッシュメモリーから BD コンテンツを初期化します。

ソフトウェアの更新

本機をソフトウェア更新サーバに直接接続して、ソフトウェアの更新ができます(41 ページ参照)。

DivX 登録コード

DivX® は DivX, Inc. のデジタルビデオ圧縮技術です。本機は、DivX ビデオ再生用の DivX Certified、または DivX Ultra Certified 製品です。
DivX VOD ファイルを再生するためには、DivX® Certified 製品である本機を登録する必要があります。まず最初に、本機の DivX VOD 登録コードを生成し、登録コードを承認するために提出します。[重要：DivX VOD コンテンツは DivX DRM コピープロテクションにより保護されており、登録された DivX Certified 製品だけが再生することができます。本機の登録コードが承認されていない DivX VOD コンテンツを再生すると、「認可エラー」と表示され、再生することはできません。]詳しくは、www.divx.com/vod をご覧ください。
[DivX登録コード] がハイライトされたら、決定または > を押すと、本機の登録コードを確認することができます。

注記：
DivX® ビデオ・オン・デマンドからダウンロードしたすべてのビデオは、本機で再生のみを行うことができます。

免責事項の警告

ENTER か > を押すと47ページのネットワークサービスに関する免責事項を表示します。

ディスクを再生する

	リモコン
1 ディスクトレイを開ける	**開/閉 (⏏)**
2 ディスクを入れる	-
3 ディスクトレイを閉める	**開/閉 (⏏)**
4 ディスクメニューの設定をする ディスクによっては画面にディスクメニューが表示されない場合があります。	**∧ ∨ < >, 決定**
5 再生を開始する	**再生 (►)**
6 再生を停止する	**停止 (■)**

注記:

- 本機の電源を入れたり、ディスクを変更したりすると、初期設定の状態に戻ります。ディスクによっては、特殊なオーディオ出力のあるものもあります。
- BD-ROM にあらかじめ収録されているコンテンツでも、ご利用できない機能もあります。また、他のメディアとは違う方法で動作する場合もあります。

ディスクメニューの画面が表示されたら

BD DVD AVCHD DivX

メニューのあるディスクを挿入すると、メニュー画面は最初に表示されます。

< / > / ∧ / ∨ ボタンで、ご覧になりたいタイトル/チャプターを選択し、決定を押して再生を開始します。

次や前のチャプター/トラック/ファイルにスキップします ALL

再生中に |◄◄ または ►►| を押すと、次のチャプター/トラック/ファイルに移動したり、再生中のチャプター/トラック/ファイルの先頭に戻ることができます。

|◄◄ を素早く二度押すと、前のチャプター/トラック/ファイルに戻ります。

レジューム再生 BD DVD AVCHD DivX

再生中に、停止 (■) をして停止します。

ディスクにもよりますが、本機は停止した位置を記憶します。“❚❚■” が画面に表示されている場合、再生 (►) を押して停止した位置から再生を開始することができます。もう一度 停止 (■) を押したり、ディスクを取り出すと (“■” が画面に表示されます)、記憶した停止位置を解除します

(❚❚■ = レジューム停止、■ = 完全な停止)。

注記:

- レジュームした位置は、電源、開/閉 などのボタンを押すと解除される場合があります。
- BD-J を含む BD ビデオ ディスクでは、レジューム再生機能は動作しません。
- BD-ROM のインタラクティブ タイトルでは、再生中に停止を一度押すと、本機は完全な停止モードになります。

再生の一時停止 ALL

再生を一時停止するときは、再生中に一時停止 (❚❚) を押します。

再生 (►) を押すと、再び再生を開始します。

ヒント: オーディオ CD や MP3/WMA の再生中に、(❚❚) をもう一度押すと、レジューム再生になります。

コマ送り再生 BD DVD AVCHD DivX

一時停止 (❚❚) を繰り返し押すと、1 フレームずつコマ送りします。

スローモーション再生 BD DVD AVCHD DivX

再生一時停止中に、繰り返し巻戻し/早送り (►►) を押すとスローモーション再生になります (4 段階スピードの前進のみとなります)。

早送り、早戻し ALL

再生中に巻戻し/早送り (◄◄ または ►►) を押すと、巻戻し/早送り再生になります。

巻戻し/早送り (◄◄ または ►►) を繰り返し押すと、巻戻し/早送り再生のスピードを変えることができます。再生 (►) を押すと、通常のスピードでの再生になります。

リピート再生 ALL

リピートを繰り返し押して、繰り返したい区間を選択します。再生中のタイトル、チャプター、トラックが繰り返し再生されます。通常の再生に戻るには、リピートを繰り返し押して [オフ] を選択します。

注記： チャプター/トラックの再生中に ▶▶I を押すと、リピート再生は取り消されます。

区間指定の A-B リピート BD DVD AVCHD DivX ACD

リピート再生したい区間の開始地点でリピートを押して [A-] を選択し、希望する区間の終了地点で決定を押します。指定した区間が繰り返しリピート再生されます。3 秒内の短い区間は指定できません。通常の再生に戻るには、リピートを繰り返し押して [オフ] を選択します。

画面の拡大再生 DVD AVCHD DivX

再生または一時停止モード中に、ズームを押して [ズーム] メニューを表示します。< / > でズームモード (16 段階) を選択します。戻るを押して [ズーム] メニューを終了します。
通常の画面サイズに戻るには、[ズーム] メニューで [オフ] を選択します。

注記：
この機能が動作しないディスクやタイトルがあります。

タイトル メニューやポップアップ メニューを表示する BD DVD

タイトル/ポップアップを押して、タイトルメニューやポップアップメニューを表示します。再生中の DVD や BD-ROM にメニューが含まれていると、タイトルメニューやポップアップメニューが画面表示されます。ディスクによってはメニューが表示されない場合があります。

サーチメニューを使う BD DVD AVCHD DivX

再生中にサーチを押すと、サーチメニューが表示されます。
< / > を押すと、15 秒間ジャンプして巻戻しや早送り再生ができます。

ヒント:
< / > ボタンを押し続けると、ジャンプしたい位置を選択できます。

マーカーサーチ BD DVD AVCHD DivX

マーカーを入力する

マーカーを入力することで、記憶した最大 9 箇所の位置から再生を開始することができます。マーカーを入力するには、ディスク上の登録したい地点で マーカーを押します。マーカーのアイコンがテレビ画面にすぐに表示されます。これを繰り返すことで、9 箇所までマーカーを登録することができます。

マーカーした場面への頭出し

サーチを押すと、画面にサーチメニューが表示されます。
数字ボタンを押して、頭出しをしたいマーカーの番号を選択します。登録した場面から再生を開始します。

マーカーした場面の解除

v を押してマーカー番号をハイライトします。< / > で頭出しや解除をしたい登録場面を選択します。
決定を押して、登録した場面から再生を開始します。クリアを押すと、登録した場面はサーチメニューから削除されます。

注記：

- この機能が動作しないディスクやタイトルがあります。
- 停止 (■) を二度押した場合（完全な停止）、タイトルが変更された場合、ディスクを取り出した場合などは、登録した位置はすべて解除されます。
- タイトルの長さが全体で 10 秒にならない場合は、この機能は動作しません。

字幕言語を選択する BD DVD AVCHD DivX

再生中に字幕 オン/オフを押すと字幕のオン/オフを切り換えることができます。また、お好みの字幕言語を選択するには、字幕を繰り返し押します。

または

再生中にディスプレイを押して再生メニューを表示します。

∧ ∨ で [サブタイトル] の項目を選択してから、< > でお好みの字幕言語を選択します。

注記： ディスクによっては、字幕変更の選択がディスクメニューからしかできないものがあります。この場合は、タイトル/ポップアップまたはディスクメニューボタンを押して、ディスクメニューから適切な字幕を選んでください。

別のオーディオを聞く BD DVD AVCHD DivX

再生中にオーディオを繰り返し押すと、別の音声言語、オーディオトラック、オーディオチャンネルを聞くことができます。

または

再生中にディスプレイを押して再生メニューを表示します。

∧ ∨ で [オーディオ] の項目を選択してから、< > でお好みの音声言語、オーディオトラック、またはオーディオチャンネルを選択します。

注記：

- ディスクによっては、オーディオの選択がディスクメニューからしかできないものがあります。この場合は、タイトル/ポップアップまたはディスクメニューボタンを押して、ディスクメニューから適切なオーディオを選んでください。
- サウンドを切り換えた直後に、表示サウンドと実際のサウンドとの間に一時的なずれが生じる場合があります。
- BD-ROM ディスクでは、マルチチャンネル オーディオ フォーマット（5.1CH または 7.1CH）は、[MultiCH] とオンスクリーン ディスプレイに表示されます。

カラー (A、B、C、D) ボタンを使う BD

これらのボタンは、BD-J コンテンツの再生中のみに利用できます。画面が指示したボタンを正しく使用してください。ディスクのコンテンツによって、各ボタンの機能は異なります。

ラストシーンメモリー BD DVD

本機は、最後に再生したディスクの最後に再生を止めたシーンをメモリーに記憶します。最後に再生を止めたシーンは、本機からディスクを取り出しても、本機の電源を切っても、メモリーに記憶されます。次回にシーンが記憶されたディスクを挿入すると、自動的にその位置から再生を開始します。

注記：

- 設定はいつでも利用できるようにメモリーに保存されます。
- メモリーされたシーンの再生を開始する前に本機の電源を切ると、ディスクの設定は記憶されません。
- 別のディスクを再生すると、前回再生したディスクのラストシーンメモリー機能は消去されます。
- ディスクによって、この機能が動作しない場合があります。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーは、停止モードで約 5 分間経過すると表示されます。スクリーンセーバーが約 5 分間表示されると、自動的に電源が切れます。

ディスク情報を表示する

	リモコン
1 挿入したディスクを再生する	再生
2 再生メニューを表示する	ディスプレイ
3 項目を選択する	∧ ∨
4 再生メニューの設定を変更する	< >
5 ディスクの再生メニューを終了する	ディスプレイ

1 タイトル/トラック – 現在再生中のタイトル番号/トラック番号/総タイトル数/総トラック数
2 チャプタ – 現在再生中のチャプター番号/総チャプター数
3 時間 – 再生経過時間
4 オーディオ – 選択されている音声言語やチャンネル
5 字幕 – 選択されている字幕言語
6 アングル – 選択されているアングル数/総アングル数
7 リピート – 選択されているリピートモード

注記：
- ボタンを 10 秒内に押して操作しないと、オンスクリーン ディスプレイは消えます。
- タイトル番号を選択できないディスクがあります。
- 項目を選択できないディスクやタイトルがあります。
- BD インタラクティブ タイトルの再生でも画面に表示できる設定情報はありますが、変更はできません。

タイトル/チャプター/トラックの移動

BD DVD AVCHD DivX

ディスクに 2つ以上のタイトル/チャプター/トラックがある場合は、別のタイトル/チャプター/トラックに移動することができます。
再生中にディスプレイを押して、∧ / ∨ で [タイトル/チャプター/トラック] アイコンを選択します。次に数字ボタン (0-9) または < / > を押して、希望するタイトル/チャプター/トラックを選択します。

時間サーチ再生 BD DVD AVCHD DivX

再生中にディスプレイを押します。経過した再生時間が時間サーチボックスに表示されます。[時間] オプションを選択し、開始時間を左から右に、時間、分、秒と順に入力します。例えば、2 時間 10 分 20 秒の場面にサーチする場合は、「21020」と入力し、決定を押します。間違った番号を入力した場合は、クリアを押してから正しい番号を入力してください。

別のアングルから見る BD DVD

違うカメラアングルで録画されたシーンがディスクに含まれている場合は、再生中に別のカメラアングルに切り換えることができます。
再生中にディスプレイを押して再生メニューを表示します。∧ ∨ で [アングル] の項目を選択してから、< > でお好みのアングルを選択します。

リピートモードを変更する BD DVD AVCHD DivX

再生中にディスプレイを押します。リピートアイコンに、現在のリピートモードが表示されます。< > でお好みのリピートモードを選択します。
特定区間をリピート再生したい場合は、< > を使ってリピート再生したい区間の開始地点で [A-] を選択し、その区間の終了地点で決定を押します。指定した区間が繰り返しリピート再生されます。3 秒内の短い区間は指定できません。
通常の再生に戻るには、< > で [オフ] を選択します。

BD-LIVE™ を楽しむ

	リモコン
1 BD-LIVE™ 機能のある BD-ROM ディスクを挿入する	**開/閉 (⏏)**
2 ネットワーク接続と設定を確認する: BD-LIVE™ 機能を楽しむには、インターネットへの接続が必要です。	–
3 USB フラッシュメモリーを USB ポートに挿入する BD-LIVE™ 機能を楽しむには、USB フラッシュメモリーが必要です。	–
4 ディスク メニューから BD-LIVE™ 機能を選択する	**∧ ∨ < >, 決定**

本機では、BONUSVIEW 機能（BD-ROM バージョン2 Profile 1 version 1.1/ Final Standard Profile）に対応する BD ビデオにて、ピクチャー・イン・ピクチャー、サブトラック音声、仮想パッケージなどの機能をお楽しみいただけます。BD-LIVE（BD-ROM 規格 バージョン2 Profile 2）をサポートするディスクでは、BONUSVIEW (ボーナスビュー) 機能に加え、インターネットに接続することでインタラクティブ機能に対応できます。

インターネットで BD-LIVE ディスクを楽しむ

本機では BD-LIVE や 新しい BD ビデオに対応しているため、インターネットに接続すると以下のようなインタラクティブ機能をお楽しみいただけます。(利用可能な機能や操作方法は、ディスクによって違います。詳細については、ディスクの説明書を参照してください。）

– 予告編、字幕言語、BD-J などの追加コンテンツを、USB フラッシュメモリーにダウンロードして再生することができます。

– 特殊な映像データなどは、USB フラッシュメモリーにダウンロードしながら再生することもできます。

準備:

- 本機をインターネットに接続し、BD-LIVE 機能が利用できるように設定します (18〜26 ページ参照)。
- この機能を利用するには USB フラッシュメモリーが必要です。USB フラッシュメモリーを接続してください（20 ページ参照）。
- 最低でも 1GB の空き容量がある USB フラッシュメモリーをお使いください。

注意:

コンテンツをダウンロードしている最中や、ディスクトレイに Blu-ray ディスクがある場合は、接続されている USB フラッシュメモリーを取り外さないでください。接続されている USB フラッシュメモリーに損傷を与えることになり、このような USB フラッシュメモリーは BD-LIVE 機能を正常に動作できなくなります。
その場合 USB フラッシュメモリーをパソコンでフォーマットすることで、再び本機にて利用することができます。

注記:

- BD-Liveのコンテンツは、プロバイダーが決めた領域ではアクセスが制限される可能性があります。
- BD-LIVE コンテンツを挿入して再生できるまでに数分かかる場合があります。
- [BDLIVE接続] の項目が [一部許可] に設定されていると、ディスクによっては BD-LIVE 機能が動作しない場合があります（26 ページ参照)。
- 接続環境によって、インターネットへの接続に時間がかかる場合や、インターネットに接続されない場合があります。ブロードバンド回線への接続が必要条件です。
- USB フラッシュメモリーを操作中に取り出さないでください。USB フラッシュメモリーが破損する可能性があります。再生を停止し、先にメニューをオフしてください。

ヒント:

特殊な映像データなどは BD-Live 機能を利用すると、USB フラッシュメモリーにダウンロードしながら再生することができます。環境によっては、再生が一時停止してしまう場合もあります。
ダウンロードされていないセクションにスキップしないように動作を制限する機能もあります。

AACS オンライン

BD-LIVE 機能に対応しているディスクが再生されている場合、本機やディスクの ID をインターネット経由でコンテンツ提供者に送信することができます。
ディスクによって、提供されるサービスや機能は違います。

– このような ID を使ってサーバに閲覧歴を記録すると、類似している映画を紹介してもらうことができます。

– また、ゲームのスコア歴を保存することもできます。

サブトラック映像 (ピクチャー・イン・ピクチャー機能) とサブトラック音声を再生する

サブトラック映像は、ピクチャー・イン・ピクチャー機能に対応しているディスクから再生することができます。
再生方法については、ディスクの説明書を参照してください。

– サブトラック映像をオン/オフするには、PIP を押してください。サブトラック映像が再生されます。ボタンを押してオン/オフします。
– サブトラック映像でオーディオをオン/オフするには、PIP オーディオを押します。サブトラック音声が再生されます。ボタンを押してオン/オフします。

注記:

- 常に本機の設定に応じてディスクが再生されるわけではありません。ディスクによって優先される再生のフォーマットが違います。
- サーチ/スローモーション/コマ送りをしている間は、メイントラック映像のみが再生されます。
- サブトラック映像をオフにすると、サブトラック音声は再生されません。
- ディスクによって、この機能が動作しない場合があります。
- [SPDIF] または [HDMI] 項目が [プライマリパススルー] に設定されていると、サブトラック音声とインタラクティブ オーディオはビットストリーム出力に混合されません (リニア PCM コーデックは除きます。インタラクティブ オーディオとサブトラック音声は常に混合されて出力されます)。

映画を再生する

本機では、ディスクや USB フラッシュメモリーでの DivX ファイルや、DVD-RW (VR モード) ディスクに記録されたビデオコンテンツを再生することができます。DivX ファイルを再生する前に、34 ページの「DivX ファイルの必要条件」をお読みください。

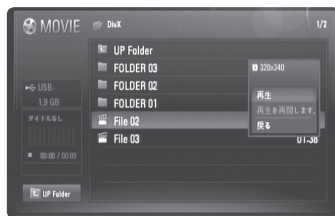
	リモコン
1 映画コンテンツが記録されているディスクや USB フラッシュメモリーを挿入する	**–**
2 [ホーム メニュー] を表示する	**ホーム**
3 [ムービー] の項目を選択する	**< >, 決定**
4 [ムービー] メニューから映画を選択する	**∧ ∨**
5 選択した映画を再生する	**再生**
6 再生を停止する	**停止**

注記:

- USB フラッシュメモリーとディスクが同時に挿入されている場合は、メディアを選択するメニューが表示されます。
  メディアを選択してから、決定を押してください。
- 多彩な再生機能の使い方については、28～31 ページを参照してください。
- [ムービー] メニューでは、赤または青色のボタンで前/次のページに移動します。
- ファイナライズされていない VR フォーマットの DVD ディスクは、本機では再生されない可能性があります。
- VR モードの DVD ディスクでは、DVD レコーダーによる CPRM 対応のメディアもあります。本機は CPRM 対応のディスクの再生に対応しています。

  CPRM とは?
  CPRM とは、一回のみ録画可能 (コピーワンス) な放送番組を記録するためのコピー制御技術 (暗号鍵システム) です。CPRM は、Content Protection for Recordable Media (記録可能なメディアの著作権保護) の略語です。

映画リストのメニューについて

∧ / ∨ で [ムービー] メニューからタイトルを選択し、決定を押します。
メニューの項目が表示されます。

例）DivX ファイル

∧ / ∨ でオプションを選択し、決定を押します。

- **[再生]** 選択したタイトルを再生します。
- **[再生を再開します。]** 前回再生を停止した位置から再生を開始します。
- **[戻る]** メニューを終了します。戻るボタンを押しても終了できます。

DivX ファイルでの字幕表示の注意

字幕言語が正しく表示されない場合は、以下の記載手順で言語コードを変更してください。

1 再生中に字幕を 3 秒間押します。
言語コードが表示されます。

2 字幕が正しく表示されるまで < / > を押し続けて別の言語コードを選択し、決定を押します。

DivX ファイルの必要条件

本機と互換性のある DivX ファイルは、以下に記載されているように制限されています。

- 利用可能な解像度のサイズ：
  DIVX 3.xx – DIVX 6.xx：720 x 576 (横 x 縦) ピクセル
  XVID、H.264/MPEG-4 AVC： 1920 x 1080 (横 x 縦) ピクセル
- DivX と字幕言語のファイル名の制限文字数は 50 文字。
- DivX ファイル拡張子：「.avi」、「.divx」、「.mpg」、「.mpeg」、「.mp4」、「.mkv」
- 再生可能な DivX 字幕ファイル形式：SubRip (.srt / .txt)、SAMI (.smi)、SubStation Alpha (.ssa/.txt)、MicroDVD (.sub/.txt)、SubViewer 2.0 (.sub/.txt)、TMPlayer (.txt)、DVD Subtitle System (.txt)
- 再生可能なコーデックフォーマット：「DIVX3.xx」、「DIVX4.xx」、「DIVX5.xx」、「XVID」、「DIVX6.xx」（標準再生のみ）、H.264/MPEG-4 AVC
- 本機搭載の DivX 6.0 は再生機能のみに対応。
- 再生可能な音声フォーマット：「Dolby Digital」、「DTS」、「MP3」、「WMA」、「AAC」
- サンプリング周波数：8～48 kHz (MP3)、32～48 kHz (WMA) の範囲内
- ビットレート: 8～320 kbps (MP3)、 32～192 kbps (WMA) の範囲内
- CD-R/RW、DVD±R/RW、BD-R/RE 形式：
  ISO 9660+JOLIET、 UDF および UDF Bridge 形式
- 最大ファイル/フォルダー数
  650 まで（ファイルおよびフォルダーの合計数）
- すべての WMA オーディオ フォーマットとの互換性はありません。
- 本機は、H.264/MPEG-4 AVC profile Main、最大音量 Level 4.1 までに対応します。Level 4.1 を超えるレベルのファイルには、再生するか質問をします。
- 字幕ファイルの表示は、「.mpg」および「.mpeg」の拡張子のビデオファイルには利用できません。
- CD または USB 1.0/1.1 に記録されている HD ムービーファイルは、適切に再生されないことがあります。HD ムービーファイルを再生するには、BD、DVD、USB 2.0 を推奨します。

音楽を聴く

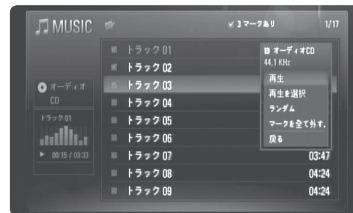
本機では、オーディオCD や MP3/WMA ファイルを再生することができます。MP3/WMA ファイルを再生する前に、36 ページの「MP3/WMA オーディオファイルの必要条件」をお読みください。	リモコン
1 オーディオ CD、または MP3/WMA ファイルを含むディスクや USB フラッシュメモリーを挿入する	–
2 [ホーム メニュー] を表示する	**ホーム**
3 [音楽] の項目を選択する	**< >, 決定**
4 [音楽] メニューから曲を選択する	∧ ∨
5 選択した曲を再生する	**再生**
6 再生を停止する	**停止**

例）オーディオCD

注記：
USB フラッシュメモリーとディスクが同時に挿入されている場合は、メディアを選択するメニューが表示されます。メディアを選択してから、決定を押してください。

ヒント：
- 曲やファイルを直接選択して再生するには、数字ボタン（0〜9）で曲番号やファイル番号を入力します。
- オーディオ CD を挿入すると、自動的に再生を開始することがあります。
- フォルダーを選択して決定を押すと、フォルダー中のファイルを閲覧することができます。上の階層のディレクトリに移動するには、< または ∧/∨ で [UP Folder] を選択し、決定を押します。
- [音楽] メニューでは、赤または青色のボタンで前/次のページに移動します。
- 再生中の曲とイコライザー表示は対応していません。
- ファイル名に使用できないコードがある場合は、正しく表示されない可能性があります。

[音楽] メニューについて

∧ / ∨ で [音楽] メニューから曲やファイルを選択し、決定を押します。
メニューの項目が表示されます。
∧ / ∨ でオプションを選択し、決定を押します。

- **[再生]** 選択した曲やファイルを再生をします。
- **[再生を選択]** 印を付けた曲やファイルのみを再生します。
  マーカーを使って、複数のファイルや曲を選択します。
- **[ランダム]** ランダム再生の開始または停止をします。
  ランダム再生中に ▶▶I を押すと、別の曲を選択してからランダム再生を再開します。
- **[マークを全て外す。]** 印を付けたすべてのファイルや曲の印を外します。
- **[戻る]** メニューを終了します。戻るボタンを押しても終了できます。

注記：
[再生を選択] と [ランダム] 機能を同時に利用することはできません。

MP3/WMA オーディオファイルの必要条件

ファイル拡張子:「.mp3」、「.wma」

サンプリング周波数: 8〜48 kHz (MP3)、32〜48kHz (WMA) の範囲内

ビットレート: 8〜320 kbps (MP3)、32〜192 kbps (WMA) の範囲内

CD-R/RW、DVD±R/RW、BD-R/RE 形式:
ISO 9660+JOLIET、UDF および UDF Bridge 形式

最大ファイル/フォルダー数
650 まで（ファイルおよびフォルダーの合計数）

MP3/WMA ファイルについての注記

- MP3/WMA ファイルのサイズやファイル数によっては、メディアのコンテンツの読み込みに数分かかる場合があります。
- 本機は、MP3 ファイルの ID3 タグに対応していません。
- 画面に表示される VBR ファイルのトータル再生時間は正確でない場合があります。

写真を見る

写真ファイルを再生することができます。写真ファイルを再生する前に、37 ページの「写真ファイルの必要条件」をお読みください。

	リモコン
1 写真ファイルが記録されたディスクや USB フラッシュメモリーを挿入する	–
2 [ホーム メニュー] を表示する	ホーム
3 [写真] の項目を選択する	< >, 決定
4 [写真] メニューから写真を選択する	∧ ∨ < >
5 選択した写真をフルスクリーンで表示する	決定
6 次または前の写真を表示する	⏮ / ⏭
7 [写真] メニューの画面に戻る	停止

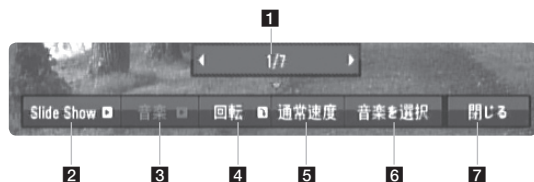
注記:
USB フラッシュメモリーとディスクが同時に挿入されている場合は、メディアを選択するメニューが表示されます。メディアを選択してから、決定を押してください。

ヒント:

- 特定のファイルを直接選択するには、数字ボタン（0〜9）でファイルの番号を入力します。
- ⏮ や ⏭ を押すと、フルスクリーンで写真ファイルを見ながら前後のファイルに進むことができます。
- [写真] メニューが表示されている間に 再生 (▶) を押すと、スライドショーを開始することができます。

- フォルダーを選択して決定を押すと、フォルダー中のファイルを閲覧することができます。上の階層のディレクトリに移動するには、∧/∨/</> で [UP Folder] を選択し、決定を押します。
- [写真] メニューでは、赤または青色のボタンで前後のページに移動します。
- ファイル名に使用できないコードがある場合は、違法として表示される可能性があります。

フルスクリーンで写真ファイルを見ながらできること

フルスクリーンでの写真の閲覧中に多彩なオプションをお楽しみいただけます。∧ ∨ < > で項目を選択し、以下に記載されているオプションをご利用ください。

1. < > で前後のファイルに進みます。
2. 決定を押して、スライドショーを開始/停止します。
3. 決定を押して、BGM を再生または一時停止します。このオプションは、[音楽を選択] 項目で BGM を選択するとご利用できます。
4. 決定を押して写真を時計回りに回転させます。
   このオプションは、スライドショーの再生中はご利用できません。
5. 決定を押してスライドショーのスピードを設定します。
6. BGM を選択します。
   1) 決定を押してメニューを表示します。
   2) ∧ ∨ < > で音楽ファイルのあるメディアやフォルダーを選択します。
   3) 決定を押して選択を決定します。
7. 決定を押してオプションメニューを終了します。
   メニューをもう一度表示する場合は、決定を押します。

写真ファイルの必要要件

ファイル拡張子：「.jpg」、「.jpeg」、「.png」

推奨サイズ：
3,000 x 3,000 ピクセル/ 24 ビット未満
3,000 x 2,250 ピクセル/ 32 ビット未満

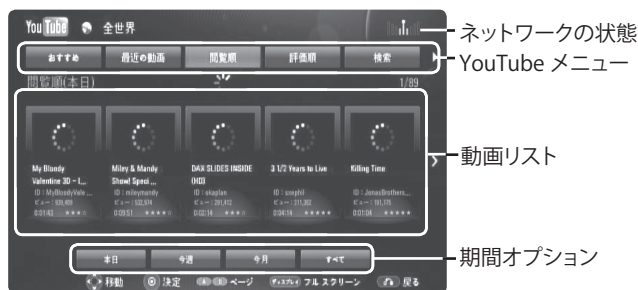
CD-R/RW、DVDｱR/RW、BD-R/RE 形式：
ISO 9660+JOLIET、UDF および UDF Bridge 形式

最大ファイル/フォルダー数
650 まで（ファイルおよびフォルダーの合計数）

写真ファイルについての注記

- 可逆圧縮（ロスレス圧縮）の写真ファイルには対応していません。
- 利用できるプログレッシブ写真のサイズは、3.3M ピクセルに制限されています。
- 写真ファイルのサイズやファイル数によって、メディアのコンテンツの読み込みに数分かかる場合があります。

YouTube を楽しむ

	リモコン
1 ネットワーク接続と設定を確認する: 18、26 ページ参照。	–
2 ネットワークの構成を確認する: 26 ページ参照	–
3 [ホーム メニュー] を表示する	**ホーム**
4 [YouTube] の項目を選択する	**< >, 決定**
5 YouTube メニューから希望する項目を選択する	**< >, 決定**
6 再生したいビデオを選択する	**< >**
7 選択したビデオを再生する	**再生 (►), 決定** **または ディスプレイ**

YouTube メニューについて

YouTube メニューで多彩なオプションをお楽しみいただけます。∧ ∨ < > で項目を選択し、以下に記載されているオプションをご利用ください。

1 おすすめ – 特集項目の動画リストが表示されます。

2 最近の動画 – 更新された最新項目の動画リストが表示されます。

3 閲覧順 – 最も人気のある項目の動画リストが表示されます。
画面の下に期間オプションが表示されます。

4 評価順 – YouTube で評価の高い動画リストを表示します。画面の下に期間オプションが表示されます。

5 検索 – キーボードメニューが表示されます。
詳細については、40 ページの「動画を検索する」を参照してください。

6 履歴 – 動画リストは、本機で最近再生した動画を最大 5 ファイルまで表示します。

7 お気に入り – このオプションは、本機から YouTube サーバにサインインしたときだけ表示されます。ご自分のアカウントで YouTube サーバに保存した動画リストが表示されます。
ビデオによっては、サーバに保存していても [お気に入り] の画面に表示されないものもあります。

8 サイン イン (サイン アウト) – サインインのキーボードメニューを表示したり、サインアウトの状態に戻します。詳細については、40 ページの「YouTube のアカウントにサインインする」を参照してください。

9 ローカル サイト – ご覧になりたい国の動画を選択します。[ローカル サイト] メニューの一覧にある国は、YouTube のウェブサイトの一覧とは異なります。

注記:

- YouTube メニューの動画リストには、5個分の動画を表示することができます。赤または青色のボタンを押すと、前後の 5個の動画を表示します。
- YouTube メニューから [閲覧順] または [評価順] の項目を選択すると、期間オプションが画面の下に表示されます。∧ ∨ < > で期間オプションを選択して決定を押すと、選択した期間範囲内のビデオを表示します。
- 本機から検索した動画リストは、パソコンのウェブブラウザから検索したリストと一致しない場合があります。

YouTube 再生画面について

ご覧になりたい動画で 再生 (►) または決定を押すと、再生画面とコンテンツの詳細が表示されます。

再生中

再生が終了、または停止すると、停止した再生画面と関連のある動画リストが画面に表示されます。∧ ∨ < > で再生停止中の動画、または関連の動画リストから動画を選択し、再生 (►) または決定を押して再生します。

停止中

ご覧になりたい動画を選択してディスプレイを押すと、フルスクリーンで再生を開始します。

フルスクリーン

ディスプレイを押すと、フルスクリーンでの再生画面とコンテンツ詳細のある再生画面とが切り換わります。

動画を再生する

本機を経由して YouTube 動画をご覧になりながらでも、YouTube 動画再生をコントロールすることができます。DVD を見る時と同じように、リモコンのボタンを使って再生の一時停止や再開をすることができます。動画の再生中に、リモコンのボタンで以下のことができます。

ボタン	操作
► または決定	コンテンツ詳細のある動画の再生を開始します。
ディスプレイ	フルスクリーンでの再生画面とコンテンツ詳細のある再生画面とを切り換えます。
❚❚	再生中の動画を一時停止します。もう一度 再生 (►) を押すと、一時停止中のビデオを再開します。
■	動画が停止し、関連の動画リストが表示されます。
❙◄◄/►►❙	再生の巻戻し/早送りをします。
ホーム	動画の終了後、リモコンのホームボタンを押すだけで [ホームメニュー] に移動することができます。

注記：

- 本機の設定は YouTube の再生品質には影響しません。
- ご利用のブロードバンド回線のスピードによって、YouTube 動画の再生に、一時停止や停止、バッファリングなどが起こる場合があります。
  1.5 Mbps 以上の接続速度を推奨します。最高品質の再生条件としては、4.0 Mbps の接続速度が必要です。お客様のインターネットサービスプロバイダ（ISP）のネットワークの状態によって、ブロードバンドの速度が変わる場合があります。高速接続の安定性に問題がある場合や、接続スピードを速めたい場合などは、契約している ISP にお問い合わせください。多くの ISP では多彩なブロードバンド回線の速度のオプションを提供しています。

動画を検索する

最長 30 文字までの検索ワードを入力して動画を検索することができます。
< > でメニューから [検索] オプションを選択し決定を押すと、キーボードメニューが表示されます。∧ ∨ < > を使って文字を入力し、決定を押してキーボードメニューの入力を決定してください。
アクセント記号の文字を入力するには、拡張キャラクターセットにある文字を選択します。
例として、「D」を選択してから、拡張キャラクターセットを表示させるために ディスプレイを押します。< > で「D」または「Ď」選んでから、決定を押します。

[OK]：検索ワードの関連動画を検索します。
[クリア]：入力した文字のすべてを解除します。
[スペース]：カーソル位置にスペースを挿入します。
[バックスペース]：入力済みの文字をカーソル位置で削除します。
[ABC / abc / #$%&]：キーボードメニューの設定を、大文字、小文字、記号の順で切り換えます。

検索ワードの入力後に [OK] を選択し、決定を押して関連の動画リストを表示します。

注記：

- キーボードメニューで入力可能な言語は、以下になります。
  英語、スペイン語、イタリア語、フランス語、ドイツ語、オランダ語、ポルトガル語、スウェーデン語、ポーランド語、チェコ語 。
- 日本語の文字は、キーボードメニューから入力できません。

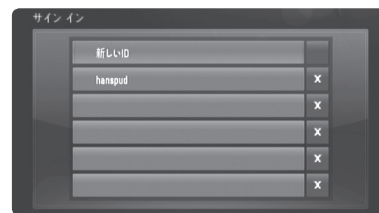
YouTube のアカウントにサインインする

アカウントを使用して YouTube サーバにあるご自分の [お気に入り] の動画リストから動画をご覧になるには、YouTube アカウントにサインインする必要があります。

< > でメニューから [サインイン] のオプションを選択し決定を押すと、キーボードメニューが表示されます。∧ ∨ < > を使って文字を入力し、決定を押してキーボードメニューの入力を決定してください。

[OK]：ID またはパスワードの入力を終了します。
[クリア]：入力した文字のすべてを解除します。
[スペース]：カーソル位置にスペースを挿入します。
[バックスペース]：入力済みの文字をカーソル位置で削除します。
[ABC / abc / #$%&]：キーボードメニューの設定を、大文字、小文字、記号の順で切り換えます。

サインアウトするときは、YouTube メニューから [サインアウト] を選択し決定を押します。

本機は以前にサインインした ID を、全部で 5個まで保存することができます。[サインイン] のオプションを選択すると ID リストが表示されます。リストに保存されている ID の 1つを選んで決定を押すと、選択した ID が既に入力された状態でキーボードメニューが表示されます。あとはパスワードを入力するだけでサインインできます。

[新しいID]：新規の ID とパスワードを入力するキーボードメニューを表示します。
[X]：[X] 記号の左にある既に保存されている ID を削除します。

ソフトウェアの更新

製品の動作機能を向上させたり、新しい機能を追加するために、最新のソフトウェアにて本機を更新することができます。本機をソフトウェア更新サーバに直接接続することで、ソフトウェアの更新ができます。

ステップ 1：ネットワーク接続と設定を確認する

18、26 ページ参照。

ステップ 2：ネットワークの構成を確認する

26 ページ参照。

ステップ 3：ソフトウェアを更新する

注意：

- ソフトウェアの更新を行う前に、すべてのディスクと USB フラッシュメモリーを本機から取り外してください。
- ソフトウェアの更新を行う前に本機の電源を切り、再度電源を入れ直してください。
- **ソフトウェアの更新中は、本機の電源を切ったり、AC 電源からコンセントを抜いたり、ボタンを押したりしないでください。**
- 更新を取り消す場合は、パフォーマンスの安定性を保つために、一度電源を切ってから入れ直してください。
- 古いバージョンのソフトウェアに更新することはできません。

1. [設定] メニューから [ソフトウェアの更新] オプションを選択し、決定を押してください。
2. 本機が最新の更新状態であるか確認します。

   注意： 更新の確認をしている最中に決定を押すと、作業は途中で終了します。

   注記： 利用可能な更新がない場合は、「アップデートが見つかりません。」のメッセージが表示されます。決定を押して [ホーム メニュー] に戻ります。
3. 新しいバージョンがある場合は、「新しいアップデートが見つかりました。ダウンロードしますか？」のメッセージが表示されます。
4. OK を選択して更新ファイルをダウンロードします（[取り消し] を選択すると更新が終了します）。
5. 本機は、サーバから最新の更新ファイルのダウンロードを開始します (ダウンロードには、4 Mbps のネットワークスピードで約 80 秒かかります)。
6. ダウンロードが完了すると、「ダウンロードが完了しました。アップデートしますか？」のメッセージが表示されます。
7. OK を選択して更新を開始してください。
   （[取り消し] を選択すると更新を終了し、ダウンロードしたファイルを利用することはできません。次回にソフトウェアを更新する場合は、ソフトウェアの更新手順を初めから再度行ってください。）

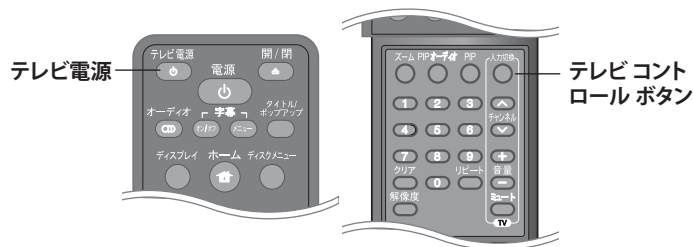
   注意： ソフトウェアの更新中は電源を切らないでください。

   注記： ソフトウェアにドライバの更新が含まれている場合は、途中でディスクトレイが開く可能性があります。
8. 更新が完了すると、「アップデートが完了しました。」のメッセージが表示され、5 秒後に自動的に電源が切れます。
9. 電源を入れ直してください。システムが新しいバージョンで動作します。
10. 更新手順の終了後に、さらに利用可能な更新がある場合は、ステップ 4 の 1 ～ 4 の手順を繰り返してください。
    ヒント:
    ソフトウェア更新の機能は、お客様のインターネット環境によって正しく動作しない場合があります。この場合は、当社承認の LG Electronics サービスセンターから最新のソフトウェアを取得し、更新を行ってください。45 ページの「カスタマーサポート」を参照してください。

その他の機能

付属のリモコンでテレビを操作する

本機に付属のリモコンで、ご利用のテレビの音量、入力切り換え、電源のオン/オフを操作することができます。

以下に記載するボタンで、ご利用のテレビを操作してください。

操作ボタン	操作内容
テレビ電源	テレビの電源をオン/オフします。
AV/INPUT	入力信号に合わせてテレビの入力を切り換えます。
PR/CH ∧/∨	設定されているテレビ チャンネルをアップ/ダウンして切り換えます。
VOL +/–	テレビの音量を調節します。
MUTE	一時的にテレビの音量を消音します。もう一度押すと解除します。

注記：
接続されている機器よっては、ご利用のテレビを操作できないボタンもあります。

リモコンにお使いのテレビを設定する

付属のリモコンで、ご利用のテレビを操作することができます。
以下の表のリストにご使用のテレビがある場合は、適切な製造メーカー コードを本機リモコンに設定してください。

テレビ電源ボタンを押したままの状態で、数字ボタンを使ってテレビの製造メーカー コードを押します (以下の表を参照)。
テレビ電源ボタンから手を放すと設定が完了します。

製造メーカー	コード番号
LG / GoldStar	1（初期設定）、2
ゼニス	1、3、4
サムスン	6、7
ソニー	8、9
日立	4

正しい製造メーカー コードを入力した後でも、お使いのテレビによっては、すべてもしくは一部のボタン操作が機能しない場合があります。リモコンの電池を入れ替える際に、設定したコード番号が初期設定にリセットされることがあります。その場合は、適切なコード番号を再度設定してください。

注記：
上の表に記載のないメーカーのテレビは操作できません。

言語コード

このリストを使用して、希望する言語を初期設定に入力してください: [ディスク オーディオ], [ディスク サブタイトル], [ディスク メニュー]。

言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード
アファル語	6565	クロアチア語	7282	ハウサ語	7265	リンガラ語	7678	ケチュア語	8185	タジク語	8471
アフリカーンス語	6570	チェコ語	6783	ヘブライ語	7387	リトアニア語	7684	ラエト語	8277	タミール語	8465
アルバニア語	8381	デンマーク語	6865	ヒンディー語	7273	マケドニア語	7775	ルーマニア語	8279	テルグ語	8469
アムハラ語	6577	オランダ語	7876	ハンガリー語	7285	マダガスカル語	7771	ロシア語	8285	タイ語	8472
アラブ語	6582	英語	6978	アイスランド語	7383	マライ語	7783	サモア語	8377	トンガ語	8479
アルメニア語	7289	エスペラント語	6979	インドネシア語	7378	マラヤーラム語	7776	梵語	8365	トルコ語	8482
アッサム語	6583	エストニア語	6984	インターリングア語	7365	マオリ語	7773	スコットランド高地ゲール語	7168	トルクメン語	8475
アイマラ語	6588	フェロー語	7079	アイルランド語	7165	マラッタ語	7782	セルビア語	8382	トウィ語	8487
アゼルバイジャン語	6590	フィジー語	7074	イタリア語	7384	モルダビア語	7779	セルボ クロアチア語	8372	ウクライナ語	8575
バシキール	6665	フィンランド語	7073	日本語	7465	モンゴル語	7778	ショナ語	8378	ウルドゥー語	8582
バスク語	6985	フランス語	7082	カンナダ語	7578	ナウル語	7865	シンド語	8368	ウズベク語	8590
ベンガル語	6678	フリジア語	7089	カシミール語	7583	ネパール語	7869	シンハリー語	8373	ベトナム語	8673
ブータン語	6890	ガリシア語	7176	カザフ語	7575	ノルウェー語	7879	スロバキア語	8375	ボラピュック語	8679
ビハール語	6672	グルジア語	7565	キルギス語	7589	オーリヤ語	7982	スロベニア語	8376	ウェールズ語	6789
デルターニュ語	6682	ドイツ語	6869	韓国語	7579	パンジャブ語	8065	スペイン語	6983	ウォロフ語	8779
ブルガリア語	6671	ギリシャ語	6976	クルド語	7585	パシュト語	8083	スーダン語	8385	ホサ語	8872
ビルマ語	7789	グリーンランド語	7576	ラオス語	7679	イラン語	7065	スワヒリ語	8387	イディッシュ語	7473
ベロルシア語	6669	グアラニー語	7178	ラテン語	7665	ポーランド語	8076	スウェーデン語	8386	ヨルバ語	8979
中国語	9072	グジャラト語	7185	ラトビア語	7686	ポルトガル語	8084	タガログ語	8476	ズールー語	9085

エリアコード

このリストからエリアコードを選択してください。

地域	コード	地域	コード	地域	コード	地域	コード	地域	コード	地域	コード
アフガニスタン	AF	コスタリカ	CR	クリーンランド	GL	モルディブ諸島	MV	パラグアイ	PY	スリランカ	LK
アルゼンチン	AR	クロアチア	HR	香港	HK	メキシコ	MX	フィリピン	PH	スウェーデン	SE
オーストラリア	AU	チェコ共和国	CZ	ハンガリー	HU	モナコ	MC	ポーランド	PL	スイス	CH
オーストリア	AT	デンマーク	DK	インド	IN	モンゴル	MN	ポルトガル	PT	台湾	TW
ベルギー	BE	エクアドル	EC	インドネシア	ID	モロッコ	MA	ルーマニア	RO	タイ	TH
ブータン	BT	エジプト	EG	イスラエル	IL	ネパール	NP	ロシア連邦	RU	トルコ	TR
ボリビア	BO	エルサルバドル	SV	イタリア	IT	オランダ	NL	サウジアラビア	SA	ウガンダ	UG
ブラジル	BR	エチオピア	ET	ジャマイカ	JM	オランダ領アンティル諸島	AN	セネガル	SN	ウクライナ	UA
カンボジア	KH	フィジー	FJ	日本	JP	ニュージーランド	NZ	シンガポール	SG	合衆国	US
カナダ	CA	フィンランド	FI	ケニア	KE	ナイジェリア	NG	スロバキア共和国	SK	ウルグアイ	UY
チリ	CL	フランス	FR	クウェート	KW	ノルウェー	NO	スロベニア	SI	ウズベキスタン	UZ
中国	CN	ドイツ	DE	リビア	LY	オマーン	OM	南アフリカ	ZA	ベトナム	VN
コロンビア	CO	英国	GB	ルクセンブルク	LU	パキスタン	PK	韓国	KR	シンバブエ	ZW
コンゴ	CG	ギリシャ	GR	マレーシア	MY	パナマ	PA	スペイン	ES		

エリアコードは、地域(リージョン)コードとは異なります。地域(リージョン)コードを変更することはできません。

よくあるトラブルと解決方法

症状	チェック項目	対処方法
電源が入らない。	• 電源プラグが外れている。	• 電源プラグを壁のコンセントに確実に接続してください。
電源はオンになるが、本機が機能しない。	• ディスクが挿入されていない。	• ディスクを挿入してください（ディスク表示が表示窓で点灯しているか確認してください）。
画像が映らない。	• 本機からのビデオ出力信号に対するテレビの設定が正しくない。	• 適切な入力モードをテレビ側で選択してください。
	• ビデオケーブルが確実に接続されていない。	• ビデオケーブルを確実に接続してください。
	• 本機にて選択した解像度にテレビが対応していない。	• 解像度ボタンを使用して、別の解像度を選択してください。
音声が出ない。	• オーディオケーブルで接続した機器が、本機からの出力信号を正しく入力できるように設定されていない。	• オーディオ機器の入力モードを、本機からの出力に対し正しく選択してください。
	• オーディオケーブルが接続されている機器の電源がオフになっている。	• オーディオケーブルが接続されている機器の電源をオンにしてください。
	• [オーディオ] 項目が正しく設定されていない。	• [オーディオ] 項目を正しく設定してください (23 ページ参照)。
	• 逆再生、早送り、スローモーション、または一時停止モードになっている。	• 通常の再生に戻してください。
プレイヤーが再生しない。	• ディスクが表裏逆で挿入されている。	• 再生面を下にしてディスクを挿入してください。
	• 再生できないディスクが入っている。	• 再生可能なディスクを挿入してください（ディスクの種類とリージョン番号を確認してください）。
	• 視聴制限が設定されている。	• 視聴制限を変更してください。
	• 別の機器で録画されたディスクがファイナライズされていない。	• 収録した機器でディスクをファイナライズしてください。
リモコンが正常に機能しない。	• 本機のリモコン受光部に向けてリモコンを操作していない。	• リモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。
	• リモコンと本機との距離が離れている。	• 本機の近くでリモコン操作をしてください。

よくあるトラブルと解決方法

症状	チェック項目	対処方法
BD-LIVE 機能が動作しない。	• USB フラッシュメモリーが接続されていない。	• FAT16 または FAT32 形式の USB フラッシュメモリーを USB ポートに接続してください (20 ページ参照)。
	• 接続されている USB フラッシュメモリーの空き容量が不足している。	• BD-LIVE 機能に使用する USB フラッシュメモリーは、最低でも 1 GB 以上の空き容量があることを確認してください。
	• インターネットの接続が確立されていない。	• 本機がローカルエリアネットワーク（LAN）に正しく接続され、インターネットにアクセスできる環境であるか確認してください (18 ページ参照)。
	• BD-LIVE 機能を利用するには、ブロードバンド回線の速度が十分な速さではない。	• ご利用のインターネットサービスプロバイダ（ISP）にお問い合わせいただき、ブロードバンド回線の速度を速くすることを推奨します。
	• [設定] メニューの [BD-LIVE 接続] の項目が [禁止] に設定されている。	• [BD-LIVE 接続] の項目の設定を [許可] にします。
YouTube ビデオの再生で、バッファリングが多い。	• ブロードバンド回線の速度が YouTube ビデオを再生にするのに十分な速度ではない。	• ご利用のインターネットサービスプロバイダ（ISP）にお問い合わせいただき、ブロードバンド回線の速度を速くすることを推奨します。
YouTube の ID が、本機の ID リストに自動的に保存されない。	• ID リストに空きがない。	• 保存されている ID の 1つを削除して、保存したい ID で再度サインインしてください。

カスタマー サポート

製品の動作機能を向上させたり、新しい機能を追加するために、最新のソフトウェアにて本機を更新することができます。
本機の最新のソフトウェアを取得するには（更新がある場合）、
http://jp.lgservice.com にアクセスするか、LG Electronics のカスタマーセンターにご連絡ください。

- 外観や仕様は予告なしに変更する場合があります。

本機をリセットする

以下のような症状が見られる場合は本機をリセットしてください。

- 電源プラグが接続されているのに電源が入らない、または切れない。
- 前面パネルが機能しない。
- 本機が正常に動作していない。

次の方法で本機をリセットしてください。

- 電源ボタンを 5 秒以上押し続けてください。本機が強制的に再起動します。
- 電源コードを取り外し、5 秒以上待ってから再度差し込んでください。

仕様

一般

電源：	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力：	18W
外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行)：	約 430 x 54 x 245 mm (脚を含まず)
本体質量 (概算)：	2.7 kg
許容周囲温度：	5 °C ～ 35 °C
許容相対湿度：	5 % ～ 90 %

出力

映像:	1.0 V (p-p)、75 Ω、ネガティブ sync.、 ピンジャック 1系統
コンポーネント/ プログレッシブスキャン:	(Y 出力レベル) 1.0 V (p-p)、75 Ω、 ネガティブ sync.、ピンジャック 1系統、 (Pb/Pr 出力レベル) 0.7 V (p-p)、 75 Ω、ピンジャック 2系統
ビデオ出力(D5) :	14-ピン, 2-ライン, 12.7mm-ピッチ, (Y) 1.0V (p-p), 75Ω (Pb)/(Pr) 0.7V (p-p), 75Ω
HDMI 出力 (映像/音声)	19 ピン (HDMI 標準、Type A 端子)
ANALOG AUDIO OUT:	2.0 Vrms (1 kHz, 0 dB)、600 Ω、 ピンジャック (L、R) 1系統
DIGITAL OUT (同軸) 端子：	0.5 V (p-p)、75 Ω、ピンジャック 1系統
DIGITAL OUT (光) 端子:	3 V (p-p)、光コネクター 1系統

システム

レーザー：	半導体レーザー、 波長：405nm / 650 nm
信号システム：	標準 NTSC テレビ放送システム
周波数特性：	20 Hz ～ 20 kHz (48 Hz、96 kHz、192 kHz サンプリング)
S/N 比：	100 dB 以上 (ANALOG OUT 端子の接続に限る)
全高調波歪率：	0.008% 未満
ダイナミックレンジ：	95 dB 以上
LAN ポート：	Ethernet コネクター 1系統、 10BASE-T/100BASE-TX

付属品

ビデオケーブル (1本)、オーディオケーブル (1本)、リモコン (1個)、
乾電池 (1本)、ＨＤＭＩケーブル (1本)、電源コード (1本) 、
取扱説明書（本書）（1部）、保証書（1部）

ネットワークサービスについての重要なお知らせ

ネットワークサービスのご利用にはインターネット接続を必要としますが、これは本製品とは別に提供されるもので、お客様ご自身でサービスプロバイダと契約する等ネットワークサービスの利用に必要な手続きはお客様ご自身でなさって下さい。弊社は、ネットワークサービスのご利用については何らの保証も致しません。また、ネットワークサービスの利用から発生する損害についても、一切の責任を負いません。

オープン ソース ソフトウェアに関するお知らせ

本機には以下のソフトウェアが含まれています。

- Free Type ライブラリ：copyright © 2003 The FreeType Project **(www.freetype.org)**
- Zlib 圧縮ライブラリ：Copyright © 1995- 2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler
- Expat ライブラリ：copyright © 2006 expat 管理者
- OpenSSL ライブラリ：
  - Eric Young により記述された暗号書記法ソフトウェア (eay@cryptsoft.com)。
  - Tim Hudson により記述されたソフトウェア (tjh@cryptsoft.com)。
  - OpenSSL Project により OpenSSL Toolkit 用に開発されたソフトウェア。(http://www.openssl.org)

本機はその他のオープンソースソフトウェアを含んでいます。

- Copyright © 1995, 1996, 1997 Kungliga Tekniska Hogskolan（Royal Institute of Technology、ストックホルム、スウェーデン）
- Copyright © 1995-2008 International Business Machines Corporation and others
- Copyright © 1999, ASMUS, Inc.

  すべての人は、以下の条件を満たす限りにおいて、本ソフトウェアおよび関連文書ファイル（以下「ソフトウェア」といいます）を複製すること、そしてこれを使用、複製、変更、結合、掲載、頒布、サブライセンス、または販売する権利、およびソフトウェアを提供する相手に同じことを許可する権利を含むがこれに限定されないという、制限のない取り扱いが無償で許可されます。

  本ソフトウェアは、明示的にも黙示的にも、商品性や特定の目的への適合性、または非侵害の保証を含みますがこれに限定されない、何ら保証をするものではない「現状有姿」で提供されます。いかなる場合においても、本ソフトウェアの著作者または著作権保持者は、契約行為、不法行為あるいはその他の行為であろうと、本ソフトウェアの使用、またはその他の本ソフトウェアの取り扱いから生じる、またこれに関係するか否かに関わらず、いかなるクレーム、損害、または他の義務に対して一切責任を負わないものとします。

- HarfBuzz

  いかなる場合においても、本ソフトウェアの著作権保持者は、本ソフトウェアおよび本仕様書の使用から生じる、直接的、間接的、特別の、付随的、派生的な損害に対して、そのような損害について訴追を受けたとしても、いかなる当事者に対しても一切責任を負わないものとします。

  著作権保持者は、商品性、特定の目的への適合性の黙示的な保証を含みますがこれに限定されない、いかなる保証を放棄することを明言します。本ソフトウェアは、「現状有姿」にて提供され、著作権保持者が維持、サポート、更新、改良、修正を提供する義務を負いません。

修理の受付・操作・故障に関するお問合せ窓口

LG Electronics Japan（株）カスタマーセンター

（フリーダイヤル） **0120-813-023**

受付時間：10:00～18:00、土曜日10:00～14:00（日・祝祭日・当社指定日を除く）
フリーダイヤルは携帯電話からはかかりません。
携帯電話の方は03ー5675ー7323までご連絡下さい。

修理に関するご案内

「故障かな？」と思ったら、取扱説明書を再度確認していただき、直らない場合には弊社まで修理をご依頼ください。

＜ 出張依頼に関して＞

保証書に「出張修理」と明記してあるものや、冷蔵庫・洗濯機・エアコン・大型テレビなどの大型家電製品は出張修理をおこないます。
弊社カスタマーセンターまでご依頼ください。

＜持込修理依頼方法＞

お買上げの販売店様に製品を持込んでいただくか、最寄の弊社サービスステーションまで直接製品の送付をお願いいたします。

［持込修理送付先］　2008年12月現在

窓口名	所在地	電話番号	サービスエリア
札幌サービスステーション	〒065-0018 北海道札幌市東区北18条東8-1-26	TEL　011-742-9603 FAX　011-704-6110	北海道全域
仙台サービスステーション	〒989-3128 宮城県仙台市青葉区愛子中央3-25-7	TEL　022-391-0488 FAX　022-391-0278	青森　岩手　秋田 宮城　福島　山形
関東サービスステーション	〒358-0026 埼玉県入間市小谷田2-1-40	TEL　04-2965-8385 FAX　04-2965-7082	新潟　群馬　茨城　栃木 埼玉　長野　静岡(東部) 東京　千葉　山梨
神奈川サービスステーション	〒251-0003 神奈川県藤沢市柄沢176小池ビル1F	TEL　0466-26-9510 FAX　0466-25-9269	神奈川県全域
名古屋サービスステーション	〒481-0002 愛知県北名古屋市片場大石62	TEL　0568-25-6535 FAX　0568-25-2801	愛知　岐阜 静岡（西部）三重
北陸サービスステーション	〒920-3131 石川県金沢市百坂町ロ88番	TEL　076-257-0839 FAX　076-258-5932	石川　富山　福井
大阪サービスステーション	〒571-0070 大阪府門真市上野口町57-18	TEL　072-885-0445 FAX　072-881-3145	大阪　京都　奈良 滋賀　兵庫　和歌山
岡山サービスステーション	〒701-0206 岡山県岡山市箕島377-4	TEL　086-281-0666 FAX　086-281-8884	岡山　広島　山口 島根　鳥取
高知サービスステーション	〒780-8040 高知県高知市神田2384-6	TEL　088-831-6993 FAX　088-832-0922	香川　徳島　愛媛 高知
福岡サービスステーション	〒811-3224 福岡県福津市手光1935	TEL　0940-43-7710 FAX　0940-43-7712	福岡　長崎　佐賀　大分 宮崎　熊本　鹿児島
沖縄サービスステーション （沖縄太陽サービスセンター）	〒901-2131 沖縄県浦添市牧港1-3-1	TEL　098-879-0775 FAX　098-963-5241	沖縄

※窓口,電話番号,所在地,サービスエリアは変更する場合がありますのでご了承願います。

〒107-8512　東京都港区赤坂2-17-22
赤坂ツインタワー本館9階